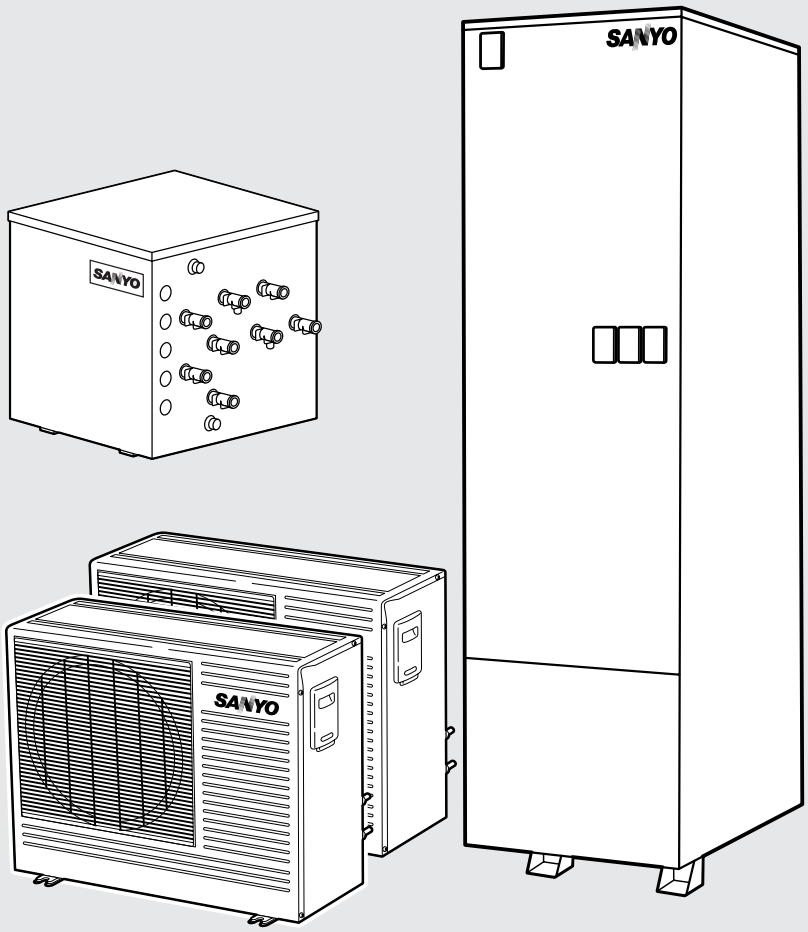
自然冷媒CO_2ヒートポンプ暖房給湯機

SHP-TCCH37F-GK

貯湯タンクユニット
SHP-TH37F-GK
ヒートポンプユニット
SHP-CH60F-GK（2台）
中継BOX
SHP-HS2A

取扱説明書



SAVE 省エネで　守る環境　豊かな暮らし

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

もくじ

ご使用の前に

ご使用の前の知識 ……1
安全のため必ずお守りください …2
各部のなまえ
　貯湯タンクユニット ……7
　ヒートポンプユニット ……7
　中継BOX ……7
　台所リモコン ……8
　ふろリモコン ……9
　リモコン表示部……10

使いかた

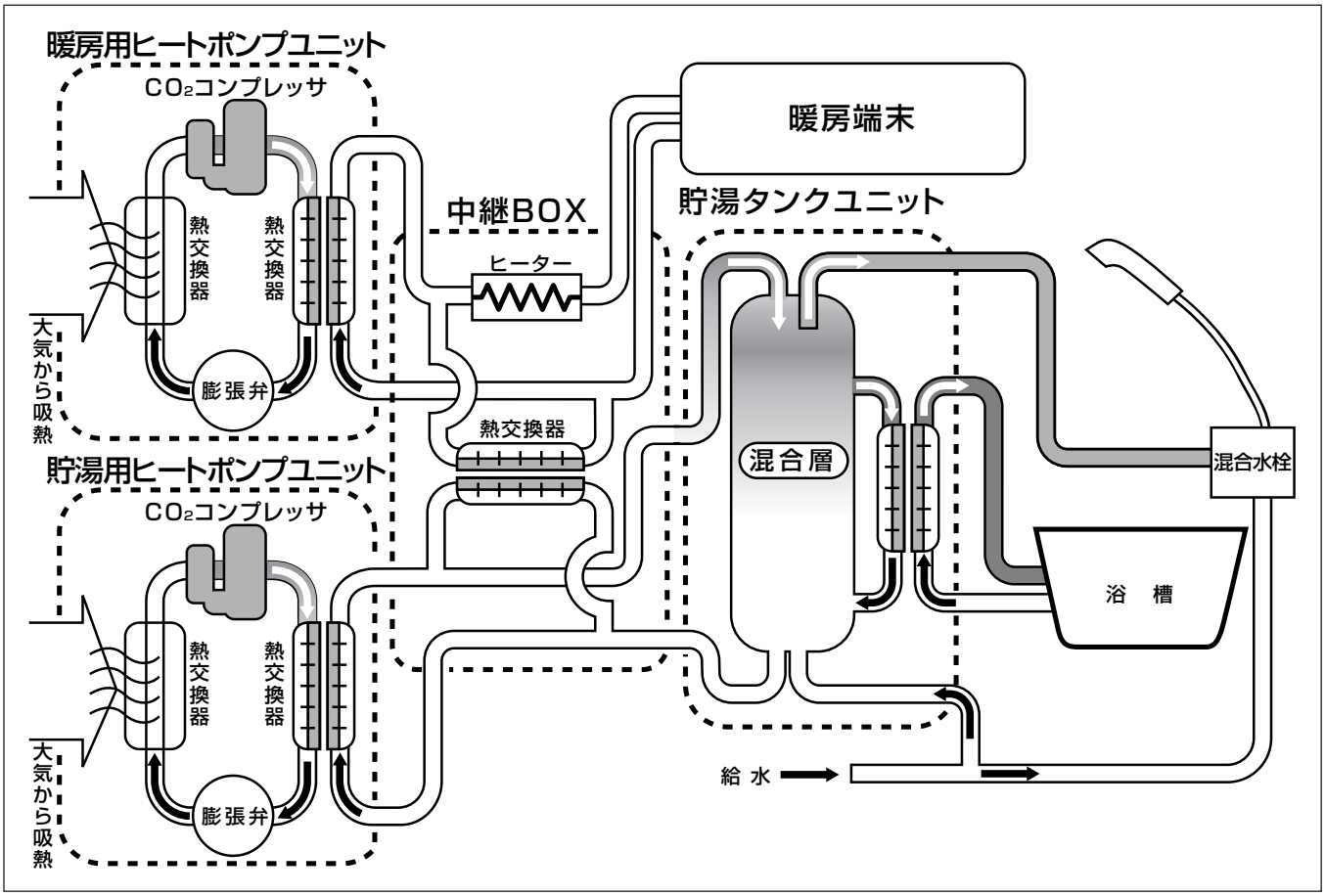
現在時刻の合わせかた……11
運転モード切替を行う……12
各運転モードの詳細……13
多量のお湯を使用したいとき……16
給湯温度を決める……17
ふろ自動運転を行う……19
　（ふろ温度とふろ水位の設定）
追いだき運転を行う……23
通話／浴室モニター……25
入浴後のワンポイント……26
ふろ配管の手動洗浄……27
各設定の変更……28
　（リモコンの音量・操作音・音声案内）
タイマー運転……29
暖房運転……30
数日間お湯を使用しないとき……37
水抜きおよび再運転の手順……38
凍結予防／定期点検……39

お手入れ・その他

お手入れのしかた……40
知っておいていただきたいこと…42
契約電力制度について……43
停電・断水のとき・災害時のとき …44
故障かな？と思ったら
　修理を依頼される前に……45
　リモコンにエラー表示された場合…46
　エラー表示がない場合……47
仕　様 ……49
アフターサービス……54

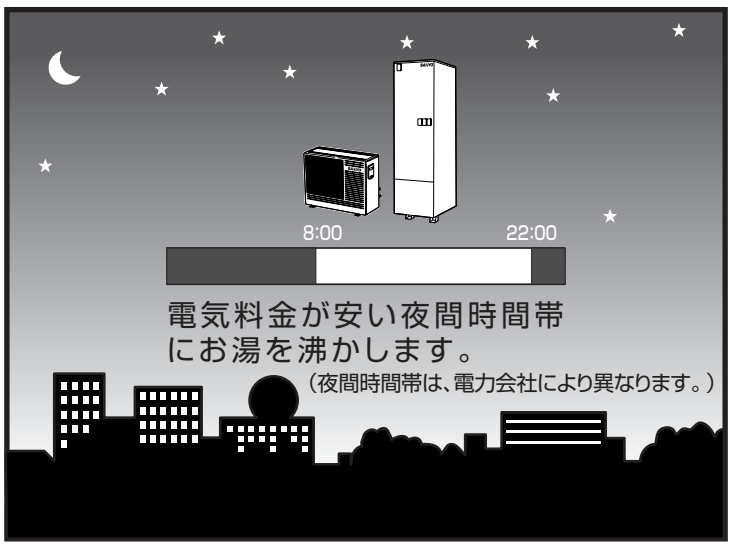
ご使用の前の知識

ヒートポンプ暖房給湯機のしくみ



自然冷媒CO_2ヒートポンプ暖房給湯機とは、ヒートポンプユニット内に封入された冷媒(CO_2)の働きを利用し、熱交換器で大気の熱を集め、お湯を沸かし、タンクユニットに貯湯したり、暖房水を暖めて利用するシステムです。そのため、お湯を使うとタンク満たんまでの沸き上げに時間を要します。
また、冷媒には自然冷媒（CO_2）を使用した、地球環境に配慮したヒートポンプ暖房給湯機です。

時間帯別電灯契約ができます



機器の性能を最大限に発揮させ、経済的に運転するために電力会社と「eタイム3（3時間帯別電灯）」契約を行うことをおすすめします。
契約方法は電力会社または販売店までご相談ください。

安全のため必ずお守りください

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告 誤った扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。

⚠ 注意 誤った扱いをしたときに、傷害や物的損害に結びつく可能性が大きいもの。

本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

「禁止」事項	分解・修理・改造禁止
「実施」事項	接触禁止

アース線接続

⚠ 警 告

給湯時は湯水混合栓に手を触れない

やけど注意

やけどをすることがあります。

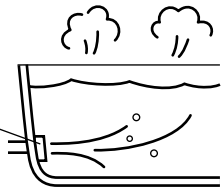
使いはじめはやけどに注意する

やけど注意

特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

追いだき運転を行うときは、浴槽アダプターから離れる

やけど注意



やけどをすることがあります。

浴槽にお湯がないときは、追いだきスイッチを押さない

やけど注意

やけどをすることがあります。
浴槽にお湯がないときも、追いだきスイッチを押すと浴槽アダプターから熱いお湯が出ます。浴槽や浴槽アダプターのお手入れを行うときは特に注意してください。

排水時はお湯に手を触れない

やけど注意

やけどをすることがあります。

逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない

やけど注意

やけどをすることがあります。

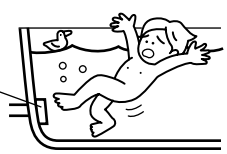
暖房使用時には暖房機器に手を触れない

やけど注意

温水機器に高い温度のお湯が供給されるので、やけどをすることがあります。

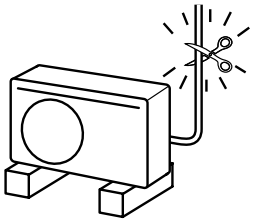
子供を浴槽内で遊ばせない また、浴槽アダプター付近に潜ったりしない

禁止



電源コードを破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままで使用しない

禁止



安全のため必ずお守りください

⚠ 警告

シャワー使用時や入浴時は、湯温を指先等で確認する

確認

湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。

給湯温度の変更は、他の蛇口の使用状況を確認してから行う

確認

やけどをすることがあります。
浴室でシャワーを使用しているときは、給湯温度の変更をしないでください。

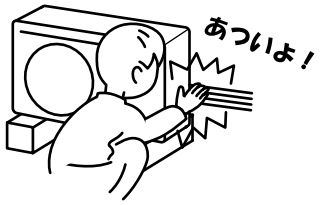
暖房回路には不凍液を使用する

確認

最低気温に合わせた濃度で使用してください。

ヒートポンプ配管に手を触れない

やけど注意



やけどをすることがあります。

ヒートポンプユニットのフィンに触ったり、空気吸込口・吹出口に手や棒を入れない

禁止

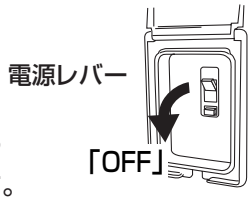
けがをすることがあります。

近くにガス類や引火物を置かない

禁止

発火・火災になることがあります。

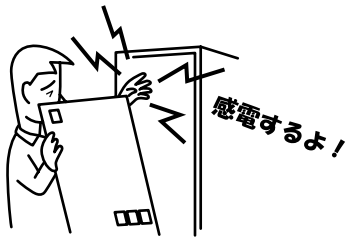
異常時は、漏電しゃ断器の電源レバーを下げて電源を「OFF」にし、お買い上げの販売店へ連絡する



異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。

前パネルを開けない

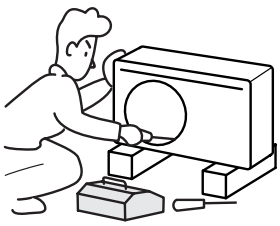
分解禁止



開けると、感電することがあります。

修理技術者以外の人は分解・修理をしない

分解禁止



発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

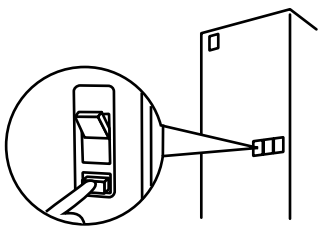
アース工事を確認する

アース工事

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。
アースの取付けは、据付工事店へお問合せください。

漏電しゃ断器の動作を確認する

動作確認

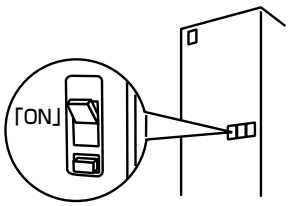


故障のまま使用すると、感電することがあります。

⚠ 注 意

凍結予防のため冬期は、漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にしない

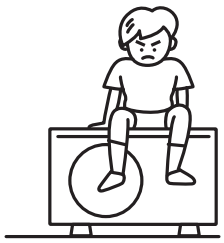
禁止



配管が凍結し、水漏れすることがあります。

機器に乗ったり、配管に力を加えたりしない

禁止



事故・やけどの原因になります。

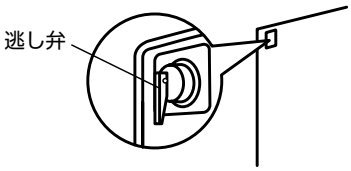
機器を満水にしてから電源を入れる

満水確認

機器に水がない状態で電源を入れると、故障の原因になります。

逃し弁の点検をする

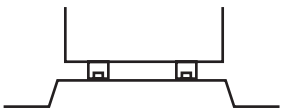
点検



点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

タンクユニットの脚がアンカーボルトで固定されているか確認する

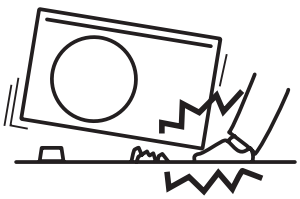
確認



固定されていないと、地震のとき、貯湯タンクユニットが倒れてけがをすることがあります。

ヒートポンプユニットの据付台が傷んだ状態で使用しない

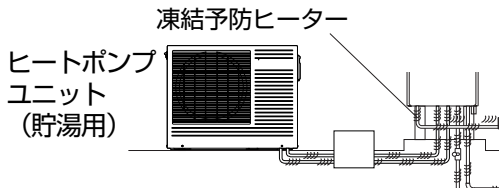
禁止



ヒートポンプユニットが落下、転倒し、けがをすることがあります。

凍結予防対策の確認をする（貯湯回路）

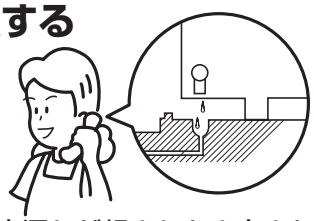
確認



凍結するとタンクや配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

床面が防水・排水処理されているか据付工事店へ確認する

確認



処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。

貯湯タンクの熱湯を直接排水しない

禁止

やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。

長期間使用しないときは、機器の排水をする

確認

排水しないと水質が変化することがあります。

安全のため必ずお守りください（つづき）

⚠ 注 意

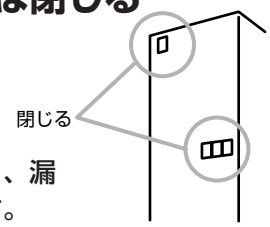
浴槽アダプターをふさがない

禁止

配管が故障し、水漏れすることがあります。

操作カバー・操作窓は閉じる

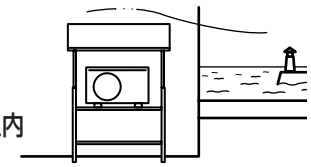
確認



開けておくと水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

塩害地には設置しない（耐塩害地仕様品は除く）

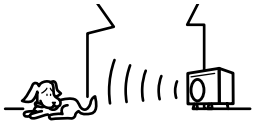
禁止



塩害地；海岸より0.5～1km以内
機器故障の原因になります。

設置は隣家に配慮した場所を選ぶ

確認



ヒートポンプユニットが2台運転しているときは、特に運転音が大きくなるので、振動が伝わりにくい場所、隣家の迷惑にならない場所をお選びください。

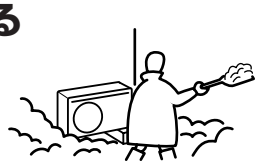
ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない

禁止

通風が妨げられると性能低下や故障の原因になります。

積雪時には除雪をする

点検



ヒートポンプユニットの周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因になります。

硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤を使用しない

禁止

本体や配管が故障し、水漏れすることがあります。入浴剤や洗剤を使用するときは、その注意書きにしたがってください。

停電復帰直後の1分間は、シャワー・給湯を使用しないでください。

禁止

熱いお湯が出る場合があります。

性能を維持させるために定期点検を行ってください。

実施

ヒートポンプユニットの設置は必ず高置架台を使用し、アンカーボルトで固定する

確認

雪に埋没すると、能力が低下したり故障の原因になります。

そのまま飲用しない

禁止

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、次の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
  （カルシウム分等が析出し、たい積して配管のツマリの原因になりますので、水質硬度は100mg/ℓ以下にしてください。）
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店（販売店）へ点検を依頼してください。

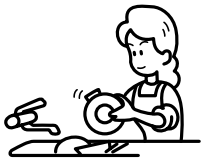
お　願　い

お湯を上手に使う

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

●髪を洗っているときは、シャワーを止めながら使用しましょう。

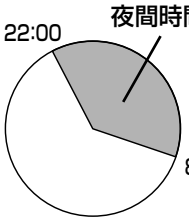
●洗いものをするときも止めながら



流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

夜間時間帯の入浴について

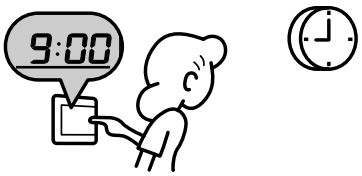
この給湯機は、おもに夜間時間帯でお湯を沸かしますので、夜間時間帯にお湯を使うと、昼間に沸き増し運転がズレ込み、電力消費量が増える場合があります。



（夜間時間帯は、電力会社により異なります。）

リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻が進んだり遅れたりした場合は、台所リモコンで時刻を合わせ直してください。



時刻がずれていると、タンク内を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金は割高になります。

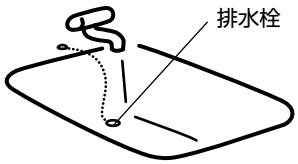
「追いだき」「差し湯」についてのお願い

追いだき運転を行うと、浴槽アダプターから、熱いお湯（約60℃）が出ます。また、差し湯を行うと、浴槽アダプターから熱いお湯（約70℃）が出ます。お子さまや高齢者の方の取り扱いについては、特に注意してください。

湯張りをするときのお願い

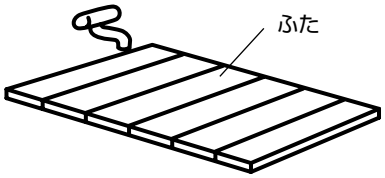
湯張りをするときは、次のことをご確認ください。

●浴槽の残水を排水して排水栓を閉じる



※浴槽や洗面台が青く変色したりすることがありますが、健康上問題はありません。（45ページ参照）

●浴槽のふたをする（保温効果を良くするため）



「タイマー運転」を行うときも同様です。

機器の設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障の原因となり、機器の性能も保証できません。

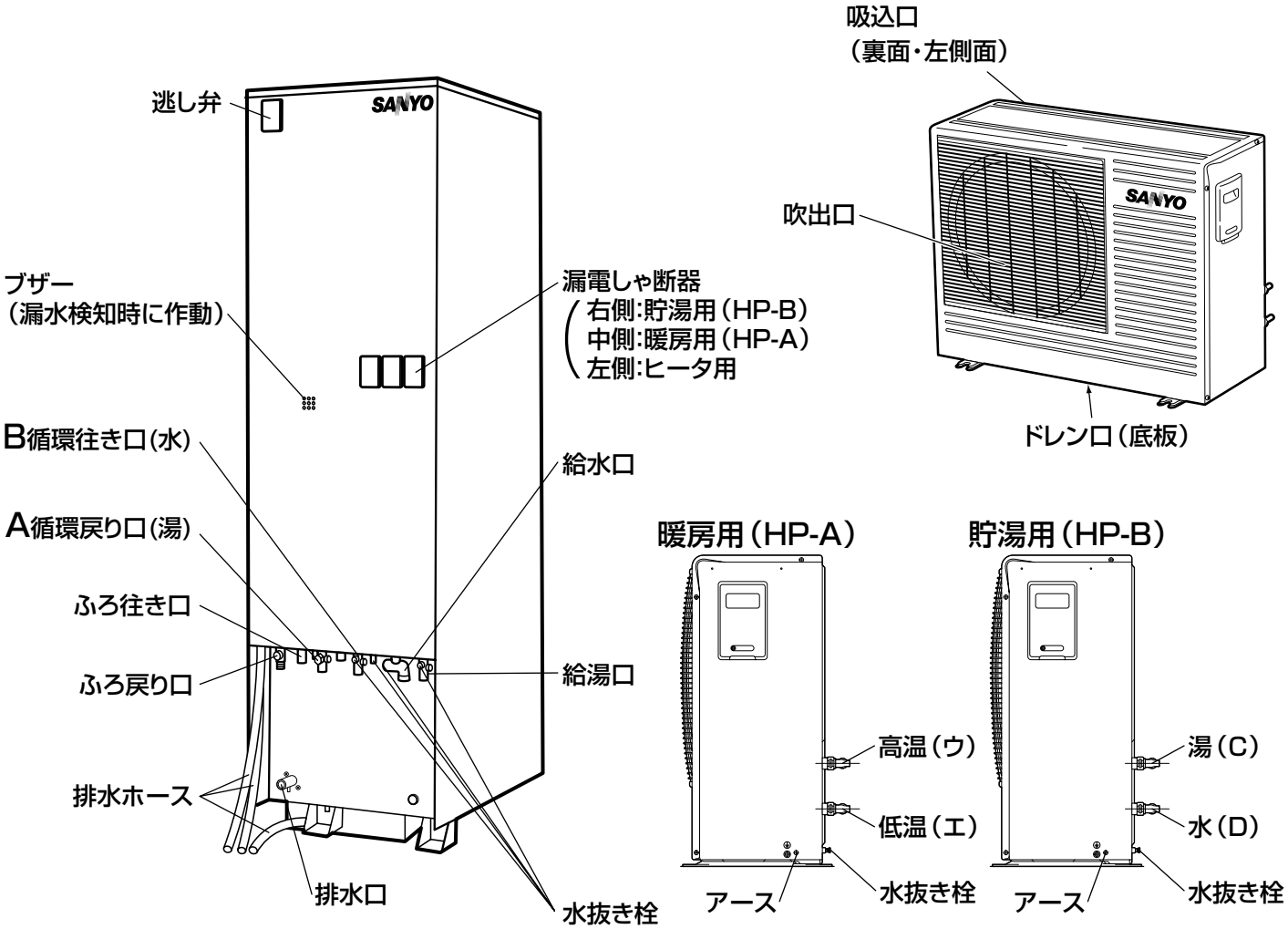
●最低気温が −25℃以下となる場所
●浴槽と同一屋内
（タンクユニットおよび中継BOX）
●屋内（ヒートポンプユニット）
●水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
●階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
●冠水する場所

●ヒートポンプユニットは、作動中に運転音がします。運転音や振動が気になる場所へは設置しないでください。
●ヒートポンプユニットの周辺には物を置かないでください。
能力低下や思わぬトラブルの原因になります。
特に冬期の積雪には、ご注意ください。
●給水圧が低い場合（200kPa以下）は、お湯の出が悪くなったり、お湯が出なくなることがあります。
●浴槽アダプターのフィルターは、必ず細かいものを使用してください。（ゴミが器具内部につまり、故障の原因になります。）

各部のなまえ

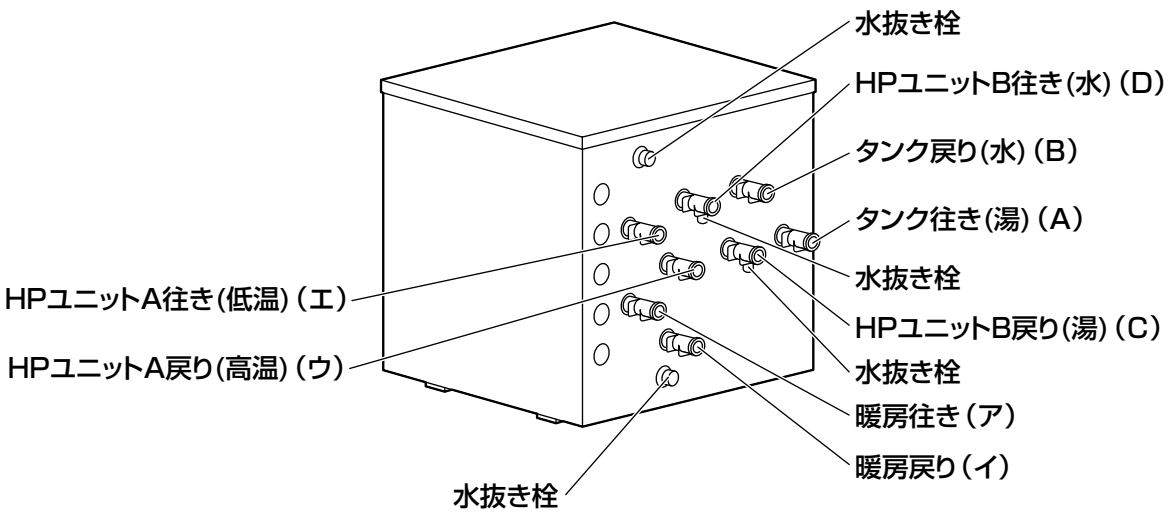
貯湯タンクユニット／ヒートポンプユニット（貯湯用／暖房用）

（SHP-TH37F-GK）　（SHP-CH60F-GK）



中継BOX

（SHP-HS2A）



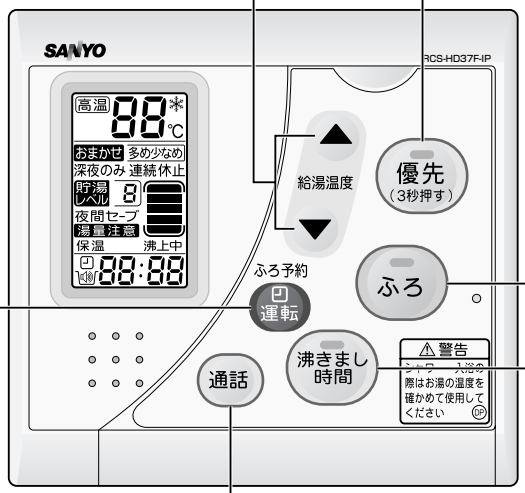
台所リモコン（RCS-HD37F-IP）

※ふたが閉まっている状態とふたが開いている状態で、スイッチが異なります。
※図は説明のためにすべて表示した状態です。

■ふたが閉まっている状態

給湯温度スイッチ
給湯温度やシャワー温度を設定します。
（17ページ）

ふろ予約運転スイッチ
設定した時刻にお湯張りを完了させます。
（29ページ）



優先スイッチ（優先ランプ）
台所リモコンに給湯温度の優先権をもたせます。
点灯…優先中
（17ページ）

ふろスイッチ（ふろランプ）
ふろ自動の「運転」「停止」を行います。
点灯…ふろ自動運転中
（19ページ）

沸きまし時間スイッチ（沸きまし時間ランプ）
設定した時間の分だけ、沸き増しを行います。
（16ページ）

通話スイッチ
ふろリモコン側と会話をすることができます。
（25ページ）

■ふたが開いている状態

時計／休止日数スイッチ
現在時刻や休止日数の設定等を行います。
（11ページ）

ふろ予約設定スイッチ
お湯張りの完了時刻を設定します。
（29ページ）

運転モードスイッチ（運転モードランプ）
運転モードを、「おまかせ(多め･少なめ)」「深夜のみ」「マニュアル（液晶表示なし）」のいずれかに設定します。
3秒長押しで運転を休止します。
点灯…運転中
（12ページ）

貯湯レベルスイッチ（貯湯レベルランプ）
貯湯レベルの変更を行います。
点灯…貯湯レベルの変更が可能です。
（15ページ）

夜間セーブスイッチ（夜間セーブランプ）
夜間時間帯に騒音を低くして運転します。
（12ページ）

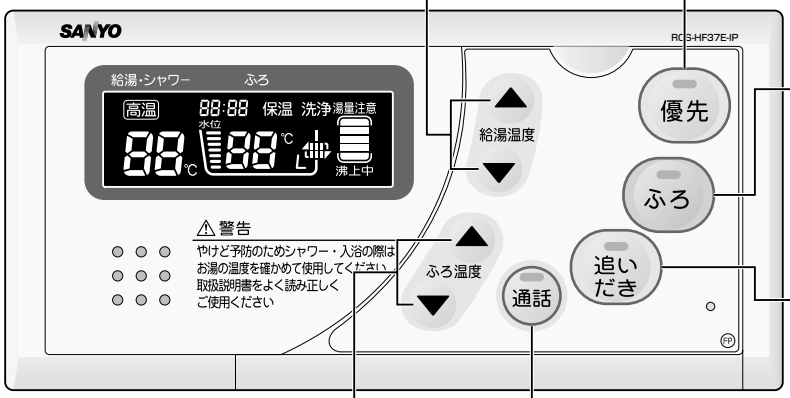
時計スイッチ
現在時刻を設定します。
（11ページ）

各部のなまえ（つづき）

ふろリモコン（RCS-HF37E-IP）

※ふたが閉まっている状態とふたが開いている状態で、スイッチが異なります。
※図は説明のためにすべて表示した状態です。

■ふたが閉まっている状態



給湯温度スイッチ
給湯温度やシャワー温度を設定します。
（17ページ）

ふろ温度スイッチ
おふろの温度を設定します。
（20ページ）

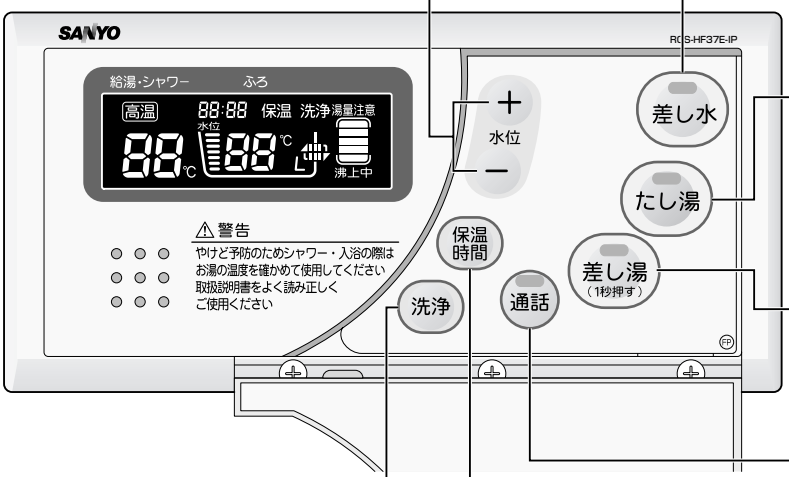
優先スイッチ（優先ランプ）
ふろリモコンに給湯温度の優先権をもたせます。
点灯…優先中
（17ページ）

ふろスイッチ（ふろランプ）
ふろ自動の「運転」「停止」を行います。
点灯…ふろ自動運転中
（19ページ）

追いだきスイッチ（追いだきランプ）
追いだきを行っておふろの温度を上げます。
点灯…追いだき中
（23ページ）

通話スイッチ（通話ランプ）
台所リモコン側と会話をすることができます。
点灯…通話中または浴室モニター中
（25ページ）

■ふたが開いている状態



ふろ水位スイッチ
おふろの水位を調節します。
（20ページ）

洗浄スイッチ
浴槽とタンクユニットの間の配管を洗浄します。
（27ページ）

差し水スイッチ（差し水ランプ）
水を10L注水します。
点灯…差し水中
（22ページ）

たし湯スイッチ（たし湯ランプ）
ふろ設定温度のお湯を20L注湯します。
点灯…たし湯中
（21ページ）

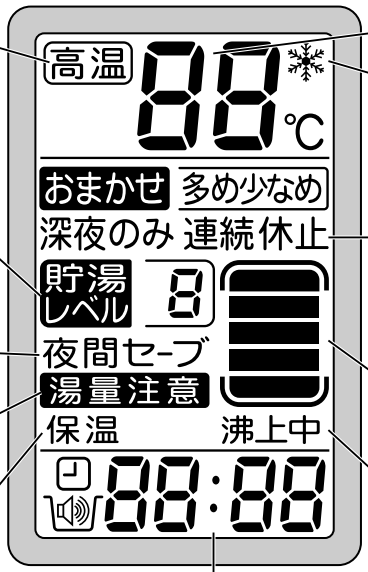
差し湯スイッチ（差し湯ランプ）
70℃のお湯を20L注湯します。
点灯…差し湯中
（22ページ）

保温時間スイッチ
ふろ自動運転を継続する時間を0～3時間の間で設定します。
（24ページ）

通話スイッチ（通話ランプ）
台所リモコン側と会話をすることができます。
点灯…通話中または浴室モニター中
（25ページ）

台所リモコン表示部

図は説明のため全部表示した状態です。
(省エネのため、バックライトは操作後約60秒で消えますが、お湯を流したときや再び操作したときに、再度点灯します。)



高温　表示
給湯温度が60℃に設定されています。

貯湯レベル　表示
運転モードが「深夜のみ」、「マニュアル」に設定されているとき、貯湯レベルを表示します。

夜間セーブ　表示
夜間セーブを押したときに表示されます。

湯量注意　表示
タンク残湯量が50L以下になると表示されます。

保温　表示
ふろ自動運転で保温を行っているときに表示されます。

給湯温度　表示
給湯温度を表示します。

凍結予防　表示
凍結予防運転中。

運転モード切替　表示
おまかせ(多め・少なめ)、深夜のみ、マニュアル(液晶表示なし)のいずれかを表示。(休止の場合は、連続3秒押したときに表示されます)

タンク残湯　表示
タンク内の残湯量のめやすです。

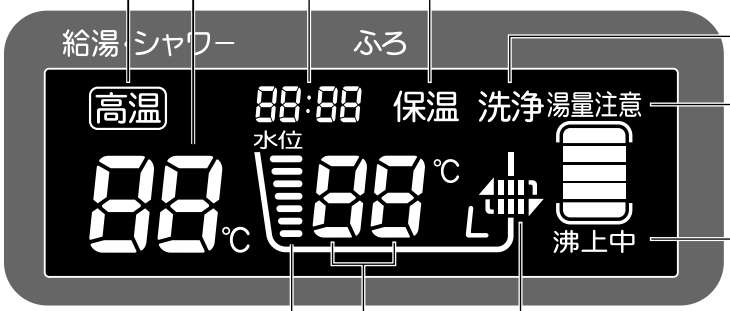
沸上中　表示
お湯の沸き上げを行っているときに表示されます。

時刻表示部
現在時刻、タイマー時刻およびエラー番号を表示します。

- 表示…タイマー運転中
- 表示…呼出し中、または通話中
- 表示…浴室モニター中

ふろリモコン表示部

図は説明のため全部表示した状態です。
(省エネのため、操作後、約30分で消えますが、お湯を流したときや再び操作したときに、再度点灯します。)



給湯温度　表示
給湯温度を表示します。

高温　表示
給湯温度が60℃に設定されています。

時刻　表示
現在時刻およびエラー番号を表示。

保温　表示
ふろ自動運転で保温中。

洗浄　表示
洗浄スイッチを押すと表示されます。

湯量注意　表示
タンク残湯量が50L以下です。

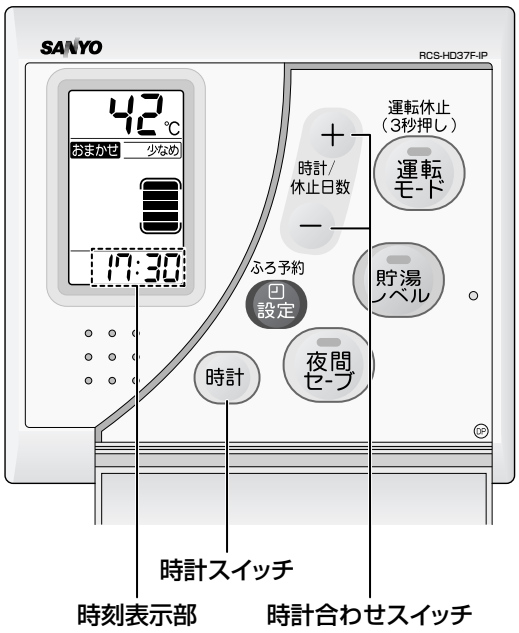
沸上中　表示
お湯の沸き上げを行っているときに表示されます。

ふろ循環　表示
…差し水、たし湯、差し湯運転中
…追いだき、ふろ自動運転中 手動洗浄中

ふろ水位　表示
おふろの設定水位を表示します。

ふろ温度　表示
おふろの設定温度を表示します。

現在時刻の合わせかた



●時計は24時間表示になっています。

（例）17：30（午後5時30分）に合わせるとき

台所リモコンのふたを開いて

1 時計を約1秒押す

● 時刻表示が点滅します。

台所 *現在時刻が変更できます。*

2 ＋ 時計/休止日数 － で合わせる

＋を押すと時刻が進みます

－を押すと時刻が戻ります

● 押し続けると10分単位で連続して変わります。
● 下1ケタは1回ずつ押して合わせてください。

「＋」を押し続けたときの変わりかた

16：50
17：00
17：10
17：20
17：30

台所 *よければ時計スイッチを押して下さい。*

3 時計を押す

● 時刻表示が点滅から点灯になります。（セット完了）

台所 *変更しました。*

※台所リモコンとふろリモコンは連動しているので、設定した時刻はふろリモコンにも反映されます。

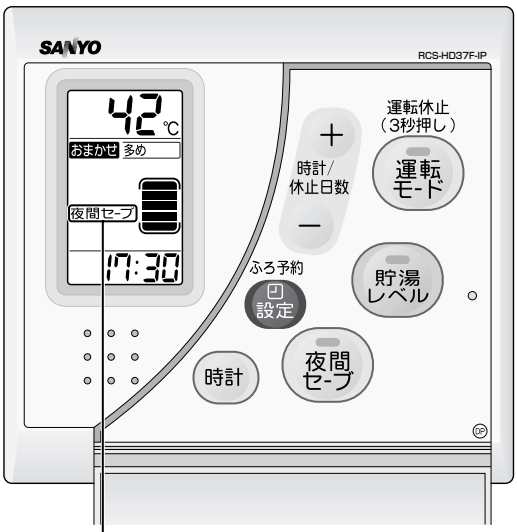
時刻合わせを行わない場合は「eタイム3（3時間帯別電灯）」／「ピーク抑制型時間帯別電灯（ドリーム8エコ）」／「時間帯別電灯（ドリーム8）」契約にあった運転を行いません。
また、夜間セーブ運転も行いません。必ず、時刻合わせを行ってください。
時刻を間違えて設定すると電気代が割高になりますので、ご注意ください。

メモ

● 電源ブレーカーを切ったり、停電した場合で復帰後、時刻表示が「－ －－」になっている場合は、現在時刻合わせをやりなおしてください。
● 現在時刻は、運転中でも停止中でも設定できます。

運転モード切替を行う

「おまかせ」「深夜のみ」「マニュアル」のいずれかを設定します。
通常は「おまかせ」の設定をおすすめします。



「夜間セーブ」を表示

台所リモコンのふたを開いて

1 運転モードを押す

- 1回押すごとに次のように切り替わります。

おまかせ → おまかせ 多め → おまかせ 少なめ → 深夜のみ → マニュアル運転（液晶表示なし） → おまかせ

- 運転モードが確定すると、音声でお知らせします。

（例）台所 おまかせ運転に設定しました。

必要に応じ、さらに

2 夜間セーブを押す

（例）台所 夜間セーブを設定しました。

「夜間セーブ」は夜間時間帯（例 23：00~7：00）のみ有効です。
（注）夜間時間帯は電力会社によって異なります。

■運転モード切替の内容と夜間セーブについて

運転モード	用途	沸き上げ	電力消費量
おまかせ	通常使用の場合	日々のお湯の使用量を学習して、ムダの少ない運転をします。	ムダに沸かすことなく効率的です。
おまかせ 多め	通常の「おまかせ」ではお湯の量が足りないと感じるとき。	通常の「おまかせ」よりお湯の沸き増しが多くなります。	通常の「おまかせ」より電力消費量は多くなります。
おまかせ 少なめ	通常の「おまかせ」ではお湯の量が多いと感じるとき。	通常の「おまかせ」よりお湯の沸き増しが少なくなります。	通常の「おまかせ」より電力消費量は少なくなります。
深夜のみ	お湯の使用量が少ない場合	夜間時間帯以外は沸き増しを行わないため湯切れの心配があります。	昼間はお湯を沸かさないので、電力消費量は最も少なくなります。
マニュアル	沸き増しを開始する湯量を手動で設定したい場合	マイコンによる学習は行わず、設定した湯量を下回ると沸き増しを開始します。	設定した湯量により、電力消費量が異なります。

- 上表運転モードに（夜間セーブ）が押されると、夜間時間帯のヒートポンプユニットの能力を下げ、運転音を低くします。
- 「夜間セーブ」は、30日経過すると自動的に解除されます。
- （沸きまし時間）を押すと、運転モードに関わらず、すぐにお湯の沸き増しをはじめます。（16ページ参照）

■タンク残湯表示とタンク内残湯量の目安

タンク残湯量表示						
	280L 以上	220~280L	160~220L	100~160L	50~100L	50L 以下
タンク残湯量	お湯の量が十分確保されています。	浴槽の湯張りとシャワーの両方を使用できます。	浴槽の湯張りは可能です。湯切れに気をつけてシャワーをお使いください。	シャワーは可能です。	お湯の量が少なくなっています。湯切れに注意してご使用ください。	**湯切れに注意。** 水になる場合があります。

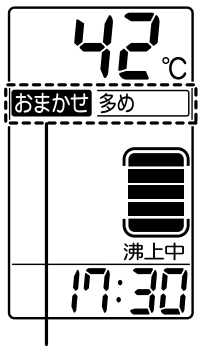
タンク残湯量が50L以下になると、音声でお知らせします。

台所 タンクのお湯が少なくなりました。

メモ

- 思わぬ寒波襲来時には沸き上げ能力が低下しますので、夜間時間帯の間に沸き上がらない場合があります。また、運転音は外気温度により変化します。
- 夜間セーブ運転時は外気温度、水温、運転中の給湯使用により、夜間時間帯を超えて運転する場合があります。

各運転モードの詳細



「おまかせ 多め」モード 表示

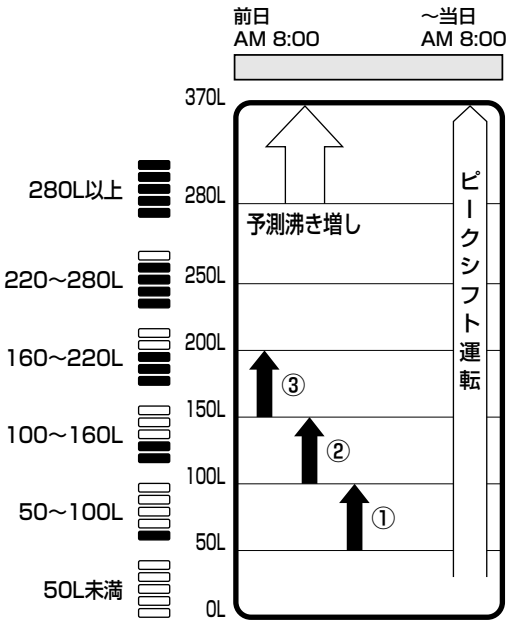
「おまかせ」モードについて

運転モード を押して「おまかせ」、または「おまかせ　多め」「おまかせ　少なめ」のいずれかを選択すると、マイコンがお湯の使用量を学習して沸き上げ運転を行います。

※通常は「おまかせ」モードでのご使用をお勧めしますが、お湯の量が足りないと感じる場合は、「おまかせ　多め」を。逆にお湯が余ってしまう場合には「おまかせ　少なめ」を選択することで、沸き上げ量を加減することができます。

※「おまかせ　少なめ」では、より一層の省エネが可能ですが、湯切れには注意が必要です。

■「おまかせ」、「おまかせ　多め」、「おまかせ　少なめ」の各時間帯ごとの動き



※以下は43ページ「4」の電力モード「eタイム3」時間帯にもとづき説明しています。

■朝晩時間（8：00～13：00）の動き（ドリーム8エコの場合　昼間時間帯）
お湯の量が図の①、②、③の基準値を下回ると、お湯の沸き増しを行います。基準値はマイコンの学習により決定されます。

■午後時間（13：00～18：00）の動き（ドリーム8エコの場合　ピーク時間帯）
お湯の量が100Lを下回ると沸き増しを行います。ただし、「おまかせ　少なめ」とドリーム8契約の場合は「朝晩時間（8：00～13：00）」と同じ動きをします。

■朝晩時間（18：00～22：00）の動き（ドリーム8エコの場合　昼間時間帯）
お湯の量が図の①、②、③の基準値を下回ると、お湯の沸きましを行います。
また、学習レベルが6～10（14ページ参照）で昼間にたくさんのお湯を使用した場合は、足りない湯量を「予測沸きまし」で補充します。
予測沸きましとは、お湯の量が各基準値（①～③）を下回らなくても、足りないと予想される湯量をあらかじめ沸きましておく機能です。
（予測沸きましについては14ページもご参照ください。）

■夜間（22：00～8：00）の動き
お湯の量が図の①、②、③の基準値を下回ると、お湯の沸きましを行います。
また、毎朝8時までにお湯を満量（370L）まで沸き上げます。（ピークシフト運転）

契約時間帯ごとの動き

●3時間帯契約……料金パターンが「朝晩」、「午後」、「夜間」の3つの時間帯に分かれる契約（eタイム3、ドリーム8エコ）

●2時間帯契約……料金パターンが「昼間」、「夜間」の2つの時間帯に分かれる契約（ドリーム8）

時間帯契約についての詳細は43ページをご参照ください。

運転モード	ピークシフト運転時（沸上量）	湯切れ沸きまし開始残湯量				
		3時間帯契約の場合				2時間帯契約の場合
		朝晩 8：00～13：00	午後 13：00～18：00	朝晩 18：00～22：00 ※1※2	夜間 22：00～ピークシフト運転開始まで	朝 7：00～ピークシフト運転開始まで
おまかせ　多め	370L	100～150L	100L	100～150L		100～150L
おまかせ		100L				100L
おまかせ　少なめ		50～100L	50L	50～100L		50～100L

※1 朝晩 18:00～22:00で学習レベル6～10の場合は「予測沸きまし」も行います。

※2 冬場の夕方にお湯が足りなくなる場合は、予測沸き増しを開始させる時刻を「18：00」から「17：00」に変更することができます。変更した場合、電気料金が高くなりますのでご注意ください。なお、設定の変更方法については販売店へご連絡ください。

メモ

●時間帯と電気料金はモードによって異なります。（43ページ参照）

●ピークシフト運転中（早朝など）にお湯を使用したり、追いだきを使用した場合は使用した湯量分運転を延長します。したがって朝8時に運転が停止しない場合があります。ただし、深夜のみ運転の場合はこのような場合でも朝7時で運転が停止します。（15ページ参照）

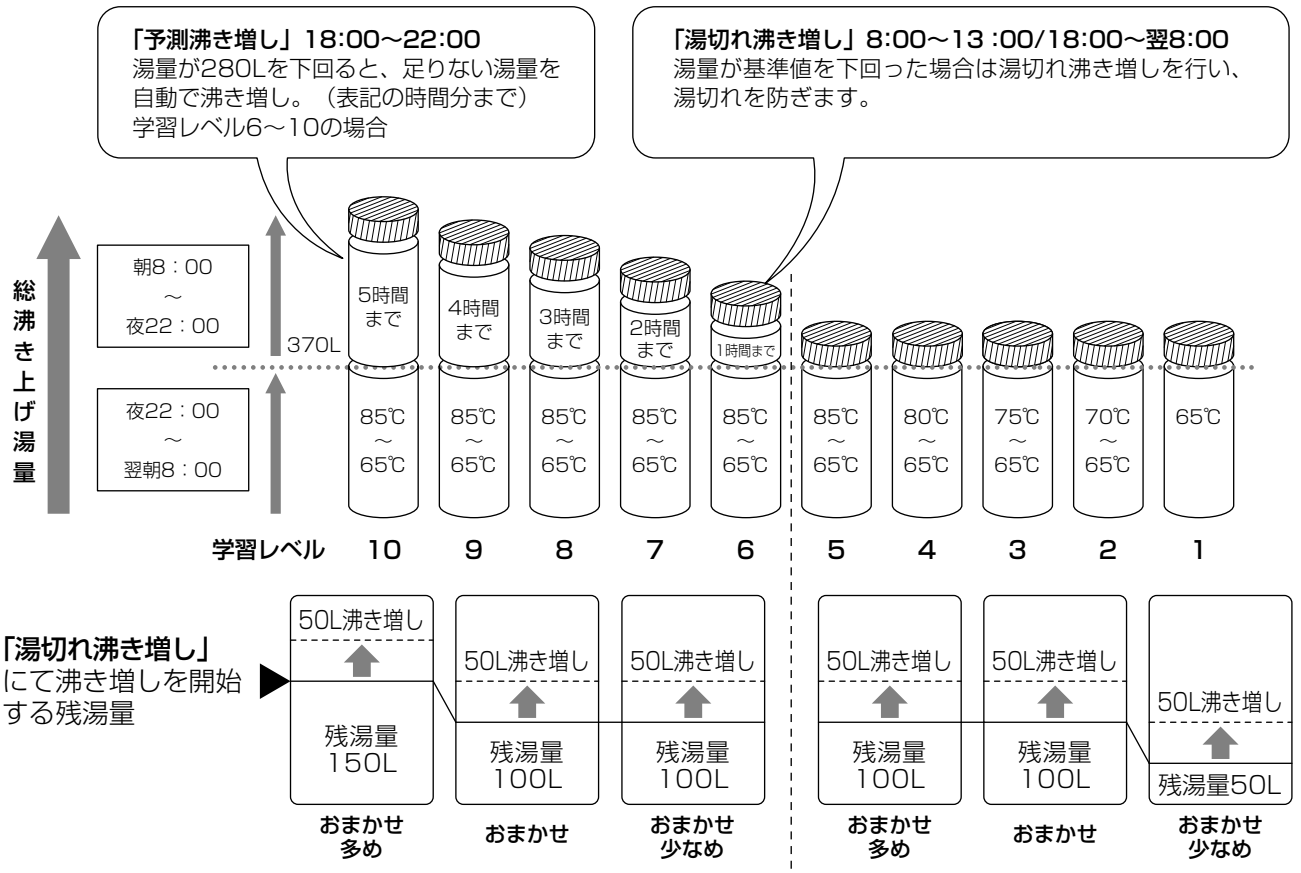
「おまかせ」運転モードの詳細

43ページの「4」の電力モード（3時間帯）の場合で説明しています。

■「おまかせ」モードに設定するとマイコンが日々使用するお湯の量を学習し、沸き上げを行うようになります。
学習によって、レベルが「1～10」の間で変化します。

学習レベルの詳細

使用湯量が前日より大きく上回った場合	上回った湯量に応じて学習レベルが上がります。
8日間連続で「湯切れ沸き増し」が行われなかった場合	学習レベルが下がります。（レベル5以下のとき）
3日間連続で「湯切れ沸き増し」が行われなかった場合	学習レベルが下がります。（レベル6以上のとき）



※「おまかせ 多め」の、16:00～18:00の時間帯は100Lを切れば150Lまで沸き増し。

※学習レベル「1～5」では、沸き上げ温度のみが変化します。
お湯の沸き上げ温度が高いほど、より多くのお湯を使用できるようになります。

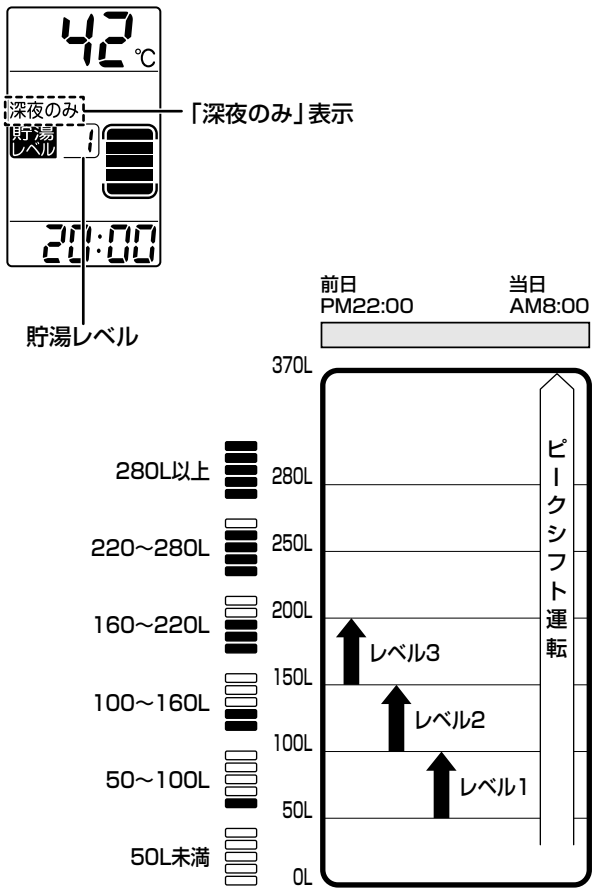
※学習レベル「6～10」では、**「予測沸き増し」**によってお湯を補充できる時間が変化します。

※各学習レベルごとの沸き上げ温度は、外気温度によっても変化します。

メモ

- リモコン上には、現在設定されている学習レベルは表示されません。
- 時間帯と電気料金はモードによって異なります。（43ページ参照）

各運転モードの詳細（つづき）



「深夜のみ」運転モードについて

運転モード を押して「深夜のみ」を選択すると、夜間時間帯のみ、沸き上げ運転を行います。

また、貯湯レベル を押すことで沸き増しを開始する残湯量を設定することができます。

- 貯湯レベル を押すごとに次のように切り替わります。
  リモコンの貯湯レベル表示部を見ながら押してください。

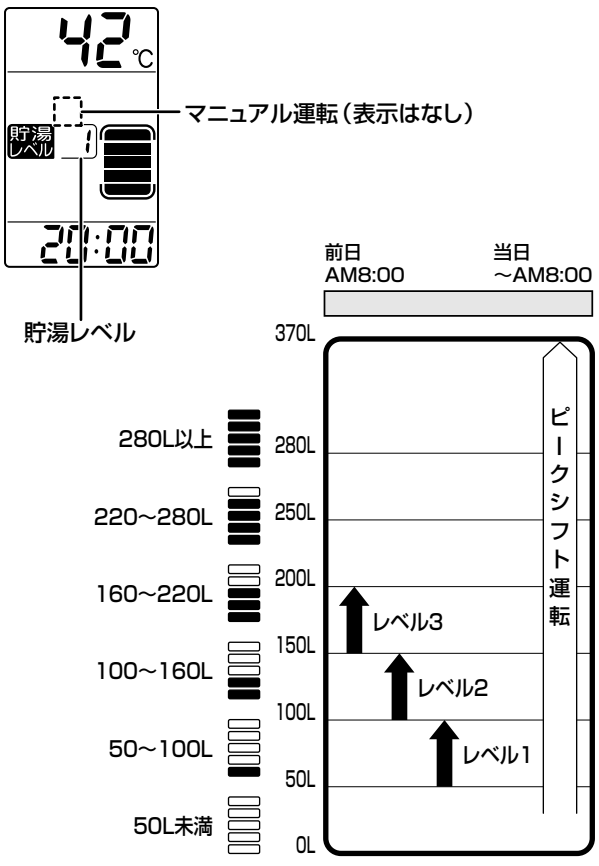
1 → 2 → 3

台所 *貯湯レベルを変更しました。*

設定した「貯湯レベル」に応じて、お湯をつくります。

「深夜のみ」モードの動き（貯湯レベル「1」のとき）

- 昼間時間帯（8：00～22：00）は、残湯量が50Lを下回っても、お湯の沸き増しは行いません。
- 夜間時間帯は残湯量が50Lを下回る度に沸き増しを始め、100Lに達すると停止します。
- また、ピークシフト運転により毎朝8時までに、370L（満量）のお湯をつくります。



「マニュアル」運転モードについて

「深夜のみ」運転モードから、もう一度 運転モード を押すと、マニュアル運転モードに切り替わります。
（液晶部には表示なし）
「マニュアル」モードに設定すると、設定した「貯湯レベル」に応じた沸き上げを行います。

- 貯湯レベル を押すごとに次のように切り替わります。
  リモコンの貯湯レベル表示部を見ながら押してください。

1 → 2 → 3

台所 *貯湯レベルを変更しました。*

設定した「貯湯レベル」に応じて、お湯をつくります。

「マニュアル」モードの動き（貯湯レベル「1」のとき）

- 残湯量が50Lを下回る度に沸き増しを始め、100Lに達すると停止します。
- また、ピークシフト運転により毎朝8時までに、370L（満量）のお湯をつくります。

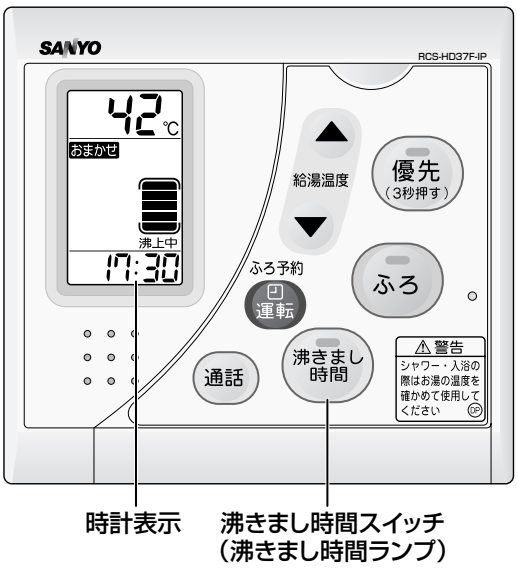
※貯湯レベル3に設定した場合、13：00～18：00の間だけは、100Lを切れば50L沸き増し。

メモ

- ピークシフト中（早朝など）にお湯を使用したり、追いだきを使用した場合や、気象条件等により運転を延長することがあります。ただし「深夜のみ」運転モードでは、運転の延長は行いませんので、満量沸き上げできないことがあります。
- 「深夜のみ」運転モード、「マニュアル」運転モードでは、予測沸き増しは行いません。

多量のお湯を使用したいとき

来客などにより多量のお湯が必要な場合は、沸きまし時間を押すと設定した時間の分だけ沸き増しを行います。



台所リモコンから

1 沸きまし時間 を押す

- 1回押すごとに液晶の時計表示部が次のように切り替わります。

現在時刻(設定解除) → 1H → 2H → 3H → 4H → 5H → 24H → 現在時刻(設定解除)

- 設定時間が確定すると、音声にてお知らせします。

台所 「設定しました。」

※ ランプ点灯中は動作中です。
※ 各設定時間を経過すると、自動的に解除されます。

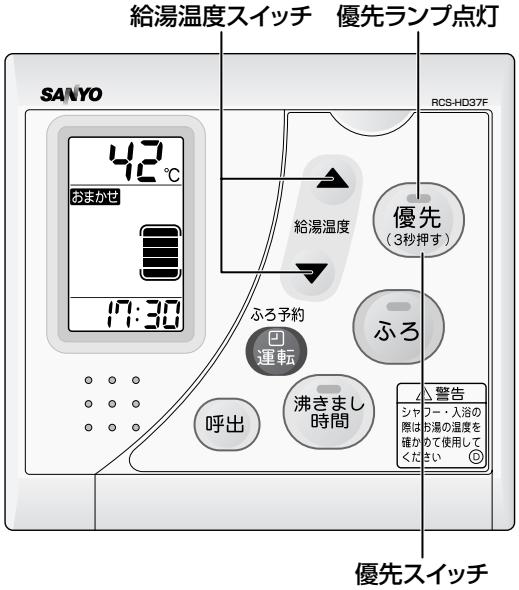
沸きまし時間スイッチの解除

沸きまし時間 を押すと解除されます。

- 沸きまし時間ランプが消灯します。

給湯温度を決める

台所リモコン・ふろリモコンのうち、優先ランプが点灯しているリモコンで給湯温度の設定ができます。



台所リモコンで設定する場合

1 優先(3秒押す)を約3秒押す

- 優先ランプが点灯します。

台所 *台所優先です。*

ふろ *(例)給湯温度を42℃に変更しました。*

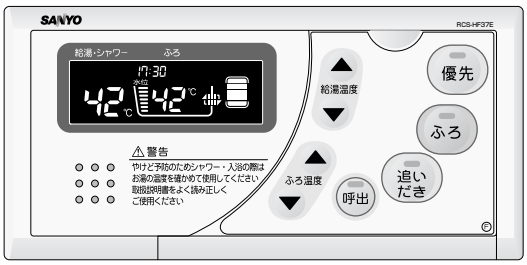
※台所リモコンで変更した温度をふろリモコンにお知らせします。

2 給湯温度でお好みの温度を設定する

▲を押すごとにブザー音が鳴り、温度が高くなります。

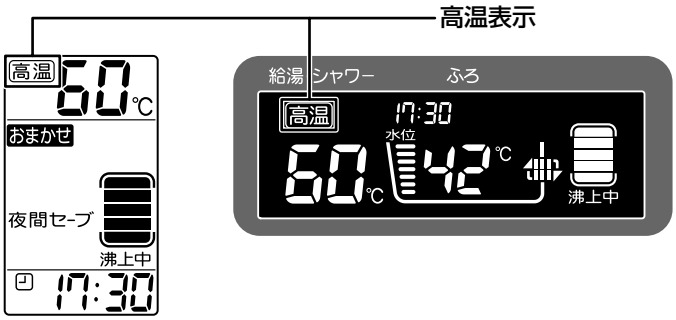
▼を押すごとにブザー音が鳴り、温度が低くなります。

- 設定できる温度は36℃～48℃、60℃です。



- **60℃に設定するときは、48℃表示から2秒以上▲を押します。**

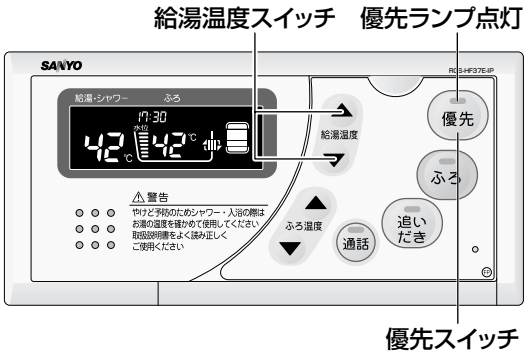
60℃に設定するとブザー音が鳴り、表示部に「高温」を表示します。



<台所リモコン>　　<ふろリモコン>

台所 *熱いお湯がでます。*

ふろ *熱いお湯がでます。*



ふろリモコンで設定する場合

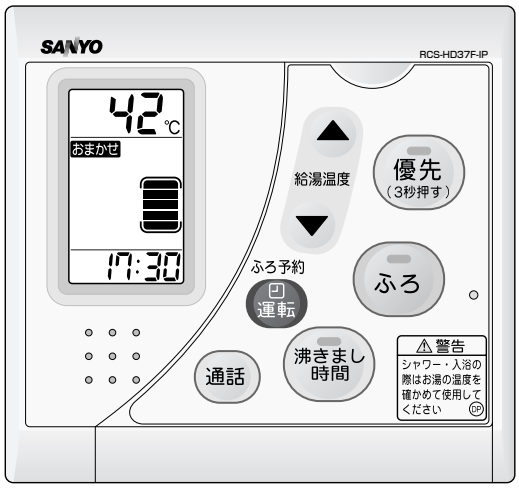
1 優先を押す

- 優先ランプが点灯します。

ふろ　*浴室優先です。*

台所　*(例) 給湯温度を42℃に変更しました。*

ふろリモコンで変更した温度を台所リモコンにお知らせします。



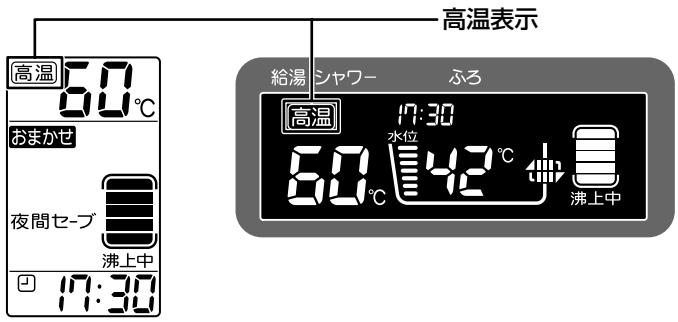
2 ▲▼でお好みの温度を設定する

▲を押すごとにブザー音が鳴り、温度が高くなります。

▼を押すごとにブザー音が鳴り、温度が低くなります。

- 設定できる温度は36℃～48℃、60℃です。
- **60℃に設定するときは、48℃表示から2秒以上▲を押します。**

60℃に設定するとブザー音が鳴り、表示部に「高温」を表示します。



<台所リモコン>　　<ふろリモコン>

台所　*熱いお湯がでます。*

ふろ　*熱いお湯がでます。*

※ 音声案内（優先スイッチを押してください）にしたがって操作してください。
※ 音声案内は設定によって内容がかわります。

⚠警告

- 給湯温度を変更すると、お湯の温度（シャワーなど）が変わります。
  他の人が使っていないか、じゅうぶんに注意してください。
- 給湯中に「ふろ自動」や「たし湯」、「追いだき」、「差し水」等を行うと、給湯温度が乱れる場合があります。

メモ

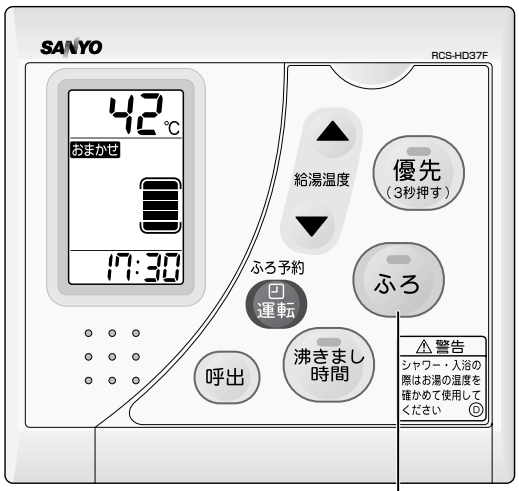
- サーモスタット付湯水混合栓の場合は、給湯温度の設定を使用するお湯の温度より5℃ぐらい高く設定することをおすすめします。（水を混ぜて使用することにより、使用できる湯量が増す場合があります。）
- ふろと給湯を同時に使用したとき、お湯の温度や湯量が変動する場合があります。

ふろ自動運転を行う

ワンタッチでおふろの湯張りを自動で行います。湯張り後も自動で保温を行います。

ご使用前の確認

台所リモコン・ふろリモコンの、どちらからでも「ふろ自動運転」が行えます。
「ふろ」スイッチを押す前に、必ず浴槽の排水栓をしてください。
また、浴槽にふたをしてください。
浴槽に前日の残り湯がある場合は、排水をしてからご使用ください。



ふろスイッチ（ふろランプ）

リモコンのふたは閉じたまま操作できます。

1 台所リモコン、またはふろリモコンの

ふろ を押す

● 台所リモコン・ふろリモコンともに「ふろランプ」が点灯。
ふろリモコンの表示部には、注湯中を示す表示がでます。

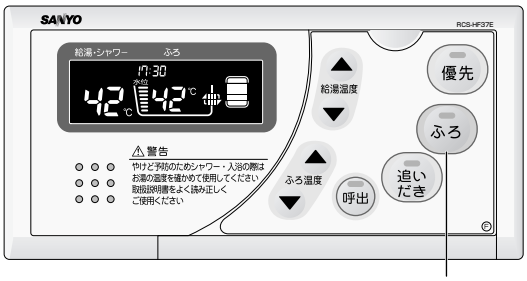
台所 お湯張りをします。

ふろ お湯張りをします。

2 ふろリモコンでふろ温度を設定する
(20ページ参照)

3 ふろリモコンでふろ水位を設定する
(20ページ参照)

※お好みの「ふろ温度」と「ふろ水位」が決まれば次回から
2 **3** の操作は不要になります。



ふろスイッチ（ふろランプ）

4 湯張り完了（21ページ参照）

途中で停止させるとき

ふろ をもう一度押す。

● 台所リモコン・ふろリモコンともに「ふろランプ」が消灯します。

ふろ自動運転 について

1. ふろ自動運転中に、台所や洗面台などの蛇口からお湯を出すと湯張り時間が長くなったり、湯張りを一時中断する場合があります。
2. リモコンの残湯表示が 、 や のときは、ふろ自動運転を行わないでください。
湯切れすることがあります。
湯切れのときは、リモコンに「Lo」表示が出て、ふろ自動運転を停止します。
再度ふろ自動運転を行う場合は、浴槽水を抜き、タンク残湯量表示が 以上になってから行ってください。

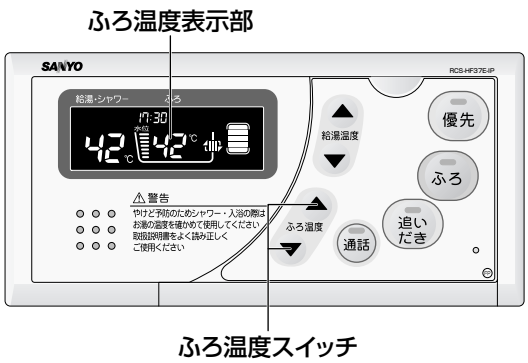
お願い！

- ふろ自動運転と追いだき運転は、1時間が経過してもお好みの浴槽温度にならない場合、エラー（F44）で停止します。

メモ

- ふろ自動運転時に循環口より継続的に気泡が出たり、「ポコン」、「ボコボコ」音がする場合がありますが異常ではありません。
- 前日の残り湯からふろ自動運転を行うと、湯切れの原因となります。

おふろの温度と水位の設定を行います。（ふろ自動運転中でなくても温度と水位の設定ができます。）



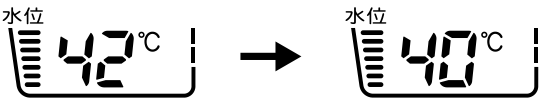
ふろ温度を設定する

2 ふろリモコンのふたを閉じた状態で

ふろ温度 ▲▼ を押す

● ふろ温度表示部を見ながら設定します。

（例）



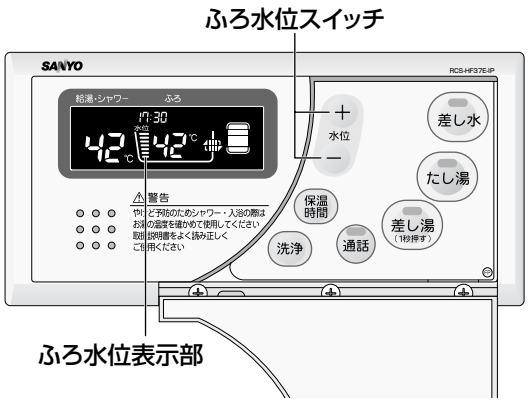
▲を押すごとにブザー音が鳴り、温度が高くなります。

▼を押すごとにブザー音が鳴り、温度が低くなります。

ふろ ♪ （例）おふろの温度を40℃に変更しました。

ふろ温度設定について

- お買い上げのとき：42℃になっています。
- 設定できる範囲：36℃～45℃で1℃刻みで設定できます。



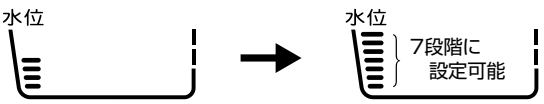
水位を設定する

3 ふろリモコンのふたを開けた状態で

＋ 水位 － を押す

● ふろ水位表示部を見ながら設定します。

（例）



＋を押すごとにブザー音が鳴り、水位を上げます。

－を押すごとにブザー音が鳴り、水位を下げます。

ふろ ♪ おふろの水位を変更しました。

ふろ水位設定について

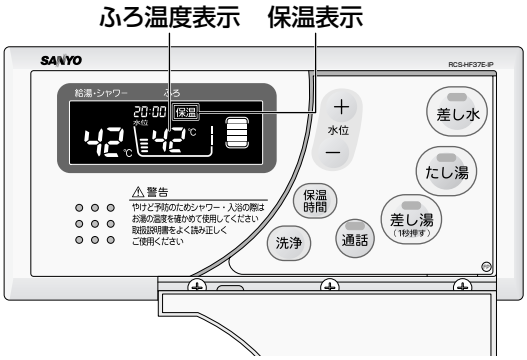
- 浴槽アダプターの上約10～15cm※から上方に2cm刻みの7段階設定ができます。
  ※浴槽の大きさによって変わります。
- 2cm刻みを4cm刻みに変更することができます。この場合は販売店にご相談ください。
- 浴槽の大きさによっては水位を最高にするとあふれる場合があります。
  その場合は水位を下げてご使用ください。

メモ

- お好みの「温度」と「水位」が決まれば、次回から **2** と **3** の操作は不要となります。
- ふろ温度と水位の設定は、湯張り完了後の自動保温中にも行うことができます。
- 「ふろ温度表示」「ふろ水位表示」はめやすとしてお使いください。

ふろ自動運転を行う（つづき）

湯張りが完了すると、自動保温・自動たし湯運転等を行います。



4 湯張りが完了するとメロディでお知らせします。また同時に『保温』表示します。

台所 おふろが沸きました。

ふろ おふろが沸きました。

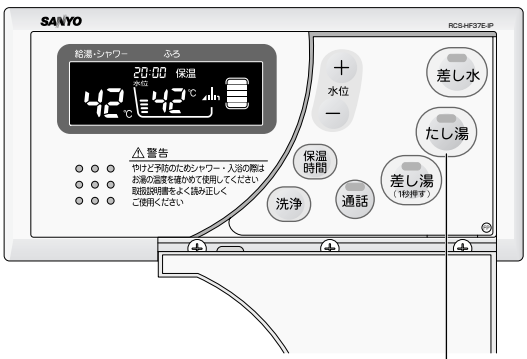
● **ふろ自動運転を解除したいときは、**

（ふろ）を押してふろ自動運転を解除してください。

解除されると、台所リモコン・ふろリモコンともにふろランプが消灯し、表示部の『保温』も消えます。

おふろのお湯を足す

入浴時にお湯の量が足りないと感じたときに。



たし湯スイッチ

ふろリモコンのふたを開いて、操作します。

1 （たし湯）を押す

● **ふろ設定温度の湯**を20L注湯します。

● たし湯ランプが点灯し、ふろリモコンに浴槽のふろ温度と注湯表示をします。

ふろ たし湯をします。

2 20Lの注湯が終ると、たし湯は完了します。

● さらにたし湯を行いたいときは、もう一度（たし湯）を押してください。

たし湯を途中で停止させるとき

（たし湯）を、もう一度押す

たし湯 について

● ふろ湯張り中のたし湯はできません。（保温中は、たし湯ができます。）

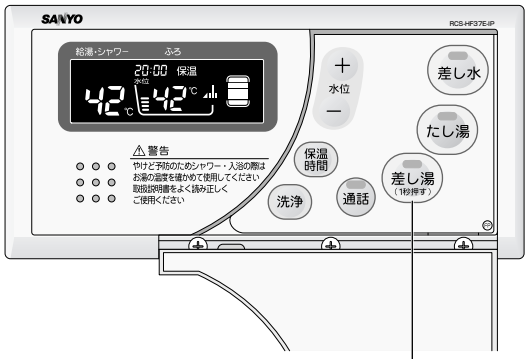
● たし湯をくり返すことにより、お湯があふれることがあります。

メモ

● 湯張り中に湯張りを停止する場合がありますが、浴槽水を確認するためで異常ではありません。（約3分～5分かかる場合があります。）

おふろに熱いお湯を足す

入浴時にお湯がぬるいと感じたときに。



差し湯スイッチ
（差し湯ランプ）

ふろリモコンのふたを開いて、操作します。

1 差し湯（1秒押す）を約1秒押す

- 差し湯ランプが点灯します。
- 差し湯は、**約70℃のお湯**を20L注湯し、ふろ温度を約2～3℃上げます。※1
- ふろリモコンに注湯中の表示をします。

ふろ 🎵 *差し湯をします。熱いお湯がでます。*

2 差し湯が完了すると、差し湯ランプが消灯します。

- さらに、ふろ温度を上げたいときは、もう一度（差し湯（1秒押す））を押してください。
- 差し湯を連続して行った場合、2度目からは安全のため、すぐに受け付けない場合があります。また、浴槽アダプタより上にお湯が張られていない場合は、2度目の差し湯を行いません。

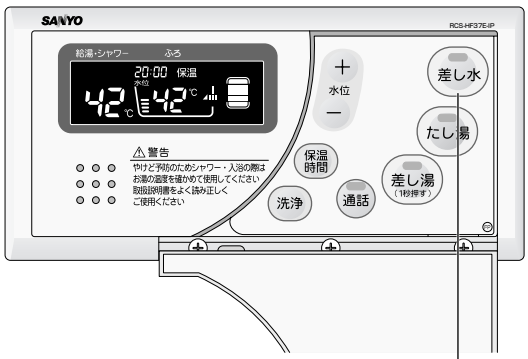
差し湯を途中で停止させるとき

（差し湯（1秒押す））を、もう一度押す

- 差し湯ランプが消灯します。

おふろに水を足す

入浴時にお湯が熱いと感じたときに。



差し水スイッチ
（差し水ランプ）

ふろリモコンのふたを開いて、操作します。

1 （差し水）を押す

- 差し水ランプが点灯し、水を約10L注水します。
- ふろリモコンに注水中の表示をします。

ふろ 🎵 *差し水をします。*

2 差し水が完了すると、差し水ランプが消灯します。

- さらに、ふろ温度を下げたいときは、もう一度（差し水）を押してください。

差し水を途中で停止させるとき

（差し水）を、もう一度押す

- 差し水ランプが消灯します。

差し湯・差し水 について

- ふろ湯張り中の差し湯と差し水はできません。（保温中は、差し湯と差し水ができます。）
- 差し湯や差し水をくり返すことにより、お湯があふれることがあります。
- （ふろ）のランプが点灯しているとき（保温中）に差し水を行うと、自動保温により設定温度までふろ温度が上がってしまいます。

⚠警告

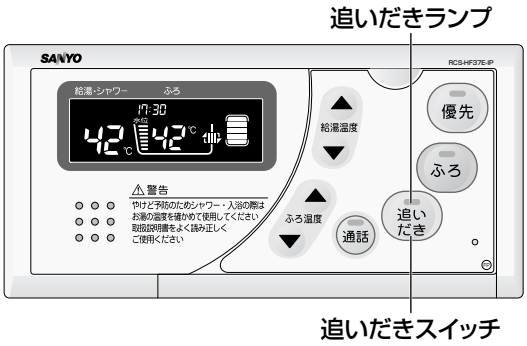
- 差し湯中は、浴槽アダプターから高温水（約70℃）が出ますので、浴槽アダプターから離れてください。
- 浴槽が空の状態での差し湯は、絶対に行わないでください。

※1　沸き上げ温度が低い場合や、タンク内のお湯が少ない場合には、差し湯の温度が低くなる場合があります。

追いだき運転を行う

追いだき運転を行う

入浴時にお湯がぬるいと感じたときに、ふろ温度を上げます。
（ふろ自動運転が停止中でも単独で運転できます。）
※追いだきスイッチを押すと、まず20Lの高温水（約60℃）を浴槽アダプターから注湯し、引き続き追いだきを行います。



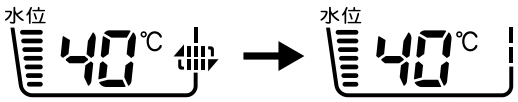
1 ふろリモコンのふたを閉じた状態で 追いだき を押す

● 追いだきランプが点灯、表示部に という追いだき中の表示をします。

ふろ 追いだきをします。

2 追いだき運転が完了すると、追いだきランプが消灯します。

● 表示部の が消えます。



追いだきを途中で停止させるとき

追いだき をもう一度押す

● 追いだきランプが消灯し、表示部の が消えます。

追いだき運転 について

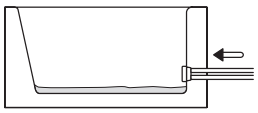
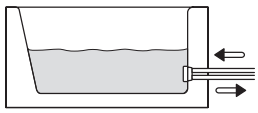
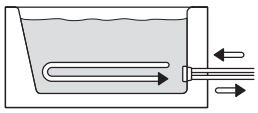
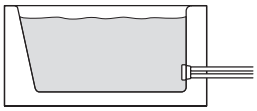
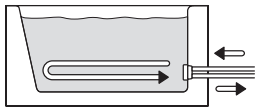
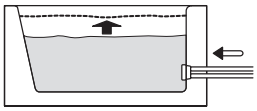
1. 追いだき運転は、約1時間で解除されます。（約1時間で設定温度まで沸き上がらないとエラーが表示されます。）
2. 前日の残り湯で追いだき運転はしないでください。（1時間で沸き上がらないことがあります。また、貯湯タンクの残湯量が低下し湯切れになる場合があります。
3. 追いだき運転を連続で行っても、10分以上の間隔をあけないと20L高温水（約60℃）の注湯は行いません。
4. 追いだき運転の20L高温水の注湯をはぶく場合は、追いだきを3回連続で押してください。
5. 高温（約60℃）のお湯を約20L注湯後、最高で設定温度から+2℃まで追いだきします。
6. 湯切れのときは、リモコンに「Lo」表示が出て、追いだき運転を停止します。

⚠警告

- 追いだき運転中は、浴槽アダプターから高温水（約60℃）が出ますので、浴槽アダプターから離れてください。
- 追いだき運転をひんぱんに行うとタンク内の熱を使用するため、残湯量が減ります。
- 沸き上げ温度が低い場合や、タンク内のお湯が少ない場合には、追いだき時間が長くなる場合があります。

ふろ自動運転中の動作と表示

※ふろ以外の表示はわかりやすくするため消しています。

	ふろ自動運転中		
	湯張り中	ポンプ循環中	追いだき中
浴槽			
表示			
	沸上げ完了	自動保温	自動たし湯
浴槽		約30分毎に湯温をチエックし保温運転をします。 	水位が約4cm以上下がるとたし湯運転をします。 
表示			

ふろ自動運転の継続時間は『0～3時間』の間で変更が可能です

工場出荷時は『3時間』に設定されています。

① ふろリモコンのふたを開けて(保温時間)を押します。

ふろ 保温時間が変更できます。

ふろ温度表示部に表示された数値が保温設定時間です。

② (保温時間)を押すごとに、「0～3」時間の間で切り替わります。

③ しばらくすると変更が確定されます。

ふろ 変更しました。

※『0時間』に設定した場合は、湯張りのみを行い、「自動保温」や「自動たし湯」等は行いません。

※ 設定された時間が経過すると自動で停止します。このとき、台所リモコンとふろリモコンのふろランプも消灯します。

浴槽水の排水について

ふろ自動運転を必ず停止にし（このとき、ふろ自動ランプが消灯します。）、浴槽水を排水してください。ふろ自動運転中に排水をするとF41エラー（46ページ）が表示されます。

※ ふろ自動運転が停止（ふろランプが消灯）している場合は、そのまま浴槽水を排水してください。

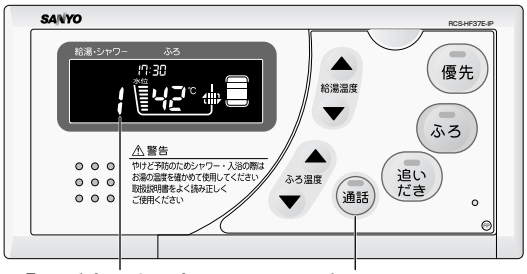
ふろ配管の自動洗浄について

ふろ自動運転を停止した後に浴槽水を排水すると、ふろ配管およびふろ加熱用熱交換器の洗浄を自動的に行います。（浴槽水が、浴槽アダプターのほぼ中央まで低下したときに洗浄を行います。）
自動洗浄中は、浴槽アダプターから間欠的にお湯がゴボゴボという音とともに出ますが異常ではありません。

通話/浴室モニター

通話

用事で人を呼びたいときなど、ふろリモコンと台所リモコンの間で通話をすることができます。



「通話音量」を表示　　通話スイッチ

それぞれのリモコンから

1 通話 または 通話 を押す。

- ふろリモコンでは「通話ランプ」が点灯します。
- 台所リモコンでは表示部に 🔊 が点灯します。
- メロディが鳴り、メロディ終了後に会話が可能になります。
- 台所リモコンで 通話 を押した場合と、ふろリモコンで 通話 を押した場合とで、メロディが鳴る回数が異なります。
  （台所リモコンで押した場合：それぞれのリモコンでメロディが2回鳴ります。
  ふろリモコンで押した場合：それぞれのリモコンでメロディが3回鳴ります。）
- 給湯温度表示部が「通話音量」表示に変わります。通話音量は、給湯温度スイッチの ▲ ▼ で変更できます。

通話音量設定：	1 (小)	→	2 (中)	→	3 (大)

- メロディ終了後から30秒経過すると、自動的に通話が解除されます。

通話を解除するとき

通話 または 通話 をもう一度押す。

浴室モニター

浴室のようすを台所リモコンのインターホンに流すことができます。
お子様がご利用されているときの安全確認などにご使用ください。

台所リモコンから

1 通話 を約1秒押す。

- ふろリモコンでは「通話ランプ」が点灯します。
- 台所リモコンでは表示部に 🔊 が点灯します。

台所 🎵 おふろのモニターをします

ふろ 🎵 おふろのモニターをします

- 30秒間、給湯温度表示部が「通話音量」表示に変わります。「通話音量」は給湯温度スイッチの ▲ ▼ で変更できます。

通話音量設定：	1 (小)	→	2 (中)	→	3 (大)

- 1時間経過すると、自動的に浴室モニターが解除されます。

浴室モニターを解除するとき

通話 を約1秒押す

メモ

- インターホンは、交互にしか通話できません。
- 台所とふろの設置場所が近いと、スピーカーから「キーン」というハウリング音が発生することがあります。その場合は、「通話音量」を下げてご使用ください。

入浴後のワンポイント

入浴後のワンポイント

入浴後などで翌朝までにお湯をあまり使用せず、現在の残湯量でお湯が十分なときにこの操作を行ってください。
※夜間時間帯まで沸き増しを行わなくなるので、電気代を節約することができます。

台所リモコンのふたを開いて 貯湯レベル を約5秒以上押す。

設定すると台所リモコンの表示部に「休止」を表示します。

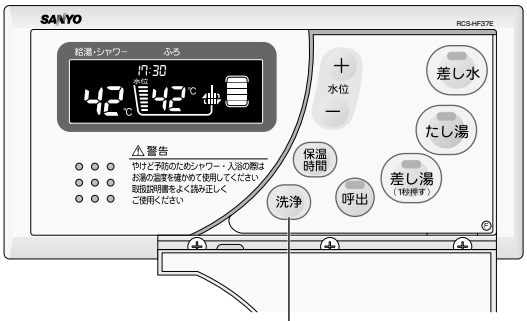
台所 休止しました。
ふろ 休止しました。

お湯の沸き増しを、夜間時間帯（ピークシフト運転開始）まで停止させます。
（現在時刻が夜間時間帯の場合には、設定することはできません。）

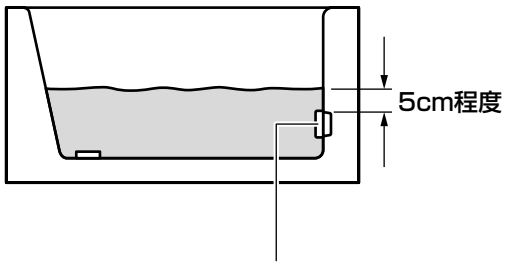
- 解除は、貯湯レベルを5秒押しでできます。
- 停止中は、ふろ自動運転、追いだき運転、たし湯運転、差し湯運転、差し水運転はできません。
- 停止中は、タイマー時刻が現在時刻から夜間時間帯の終了時刻の範囲内に設定されている場合、タイマー運転はできません。（E01が時刻表示部に3秒間点滅表示します。）

ふろ配管の手動洗浄（2、3ヶ月に1回）

市販の「浴槽1つ穴用」の洗浄剤を入れ、洗浄することを推奨します。
洗浄剤を入れなくても洗浄を行うことができます。



洗浄スイッチ



浴槽アダプター

1 浴槽アダプターのフィルターを外し、ゴミ等を除去して再び取り付けてください。

2 浴槽の排水栓をしめ、浴槽アダプターが十分隠れる程度（浴槽アダプターの上5cm程度）の水を蛇口から入れます。

3 洗浄剤を使用する場合は、洗浄剤の説明書にしたがって入れてください。

4 洗浄 を押し、※約20～40分ほど待ちます。

5 時間が経過したら、洗浄 を押して洗浄を停止させます。

6 浴槽の排水栓をあけ、ふろの水を全て排水してください。

7 洗浄剤を使用した場合は、洗浄剤を洗い流すため、再度 **2**、**4**、**5**、**6** の手順を行ってください。

注意 !!　ここでは洗浄剤は入れないでください。

※洗浄時間は洗浄剤の説明書をご覧ください。

メモ

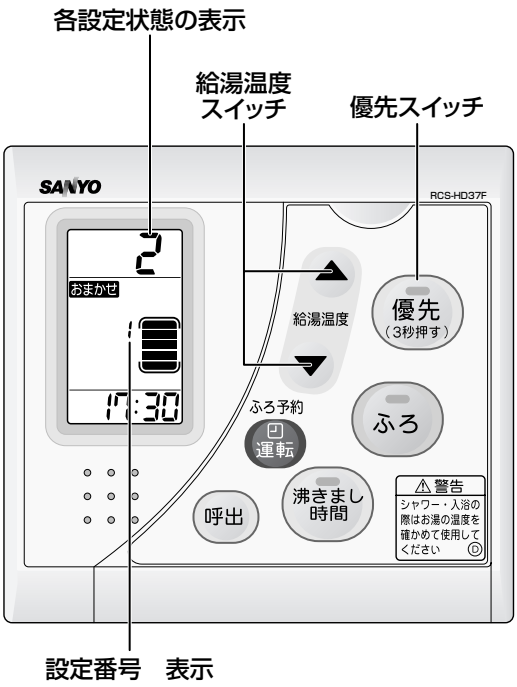
- 「手動洗浄」を行った場合は、「自動洗浄」は行いません。
  （自動洗浄は、ふろ自動運転を停止したときのみ動作します。自動洗浄については24ページを参照してください。）

お願い！

- 市販の「浴槽1つ穴用」の洗浄剤を使用する場合、詳細は「洗浄剤の説明書」に従ってください。

各設定の変更（リモコンの音量、音声案内、操作音）

台所リモコン・ふろリモコンのどちらでも設定することができます。
（説明は台所リモコンで行っています。ふろリモコンの場合も同様に設定できます。）



1 給湯温度 ▲▼ を同時に1秒押します。

次に給湯温度スイッチの▲または▼を押すと、変更できる項目が下記の番号で表示されます。

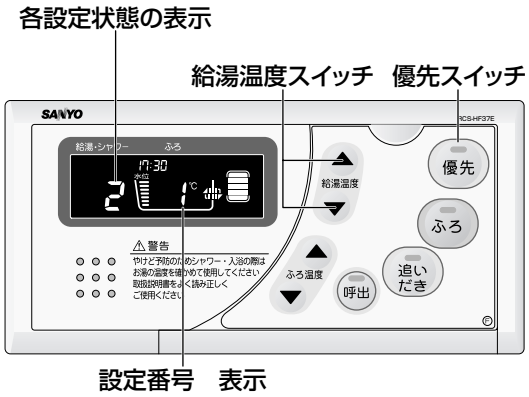
設定番号：	1	→	2	→	3
	（音量）		（音声案内）		（操作音）

及び、音声でもご案内いたします。

音量が変更できます。

しばらくして

よければ（優先 3秒押す）を押してください。



変更したい番号に合わせ（優先 3秒押す）を押すと設定モードに切り替わります。

（例）

音量設定：	OFF	→	1	→	2	→	3
			（小）		（中）		（大）

音量を大きくしたいときは、給湯温度スイッチの▲小さくしたいときは▼を押して希望の所に合わせてください。

（優先 3秒押す）を押すと確定します。押さなくても約10秒で確定されます。

（音量設定）

oF ↔ 1 ↔ 2 ↔ 3

（操作音設定・音声案内設定）

on ↔ oF

2 他の設定を行う場合は **1** の要領で操作を行ってください。

- 操作音設定：OFF→ON　2つの設定ができます。
- 音声案内設定：OFF→ON　2つの設定ができます。

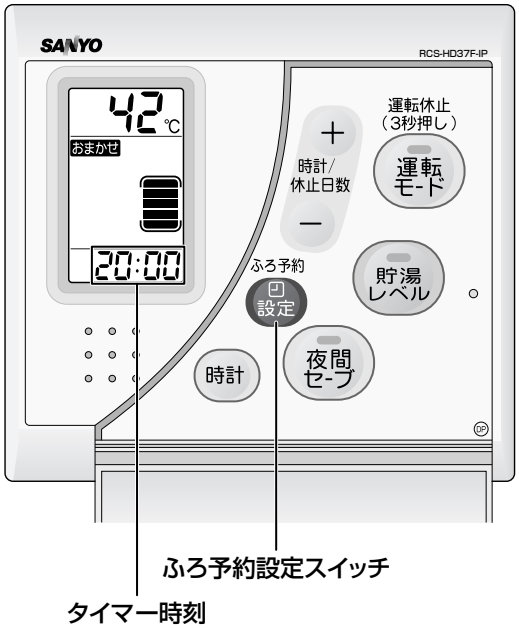
メモ

- 音量設定をOFFに設定すると、操作音、音声案内がONであっても、音が出なくなります。
- 音量設定をOFFに設定しているときは、「設定番号」を参照して変更してください。
- 通話音量については、25ページを参照して変更してください。

タイマー運転（現在時刻合わせをしないと、タイマー運転はできません）

入浴したい時間に合わせて湯張りを自動的に完了させることができます。
タイマー運転を設定する前に、必ず浴槽の排水栓とふたをしてください。

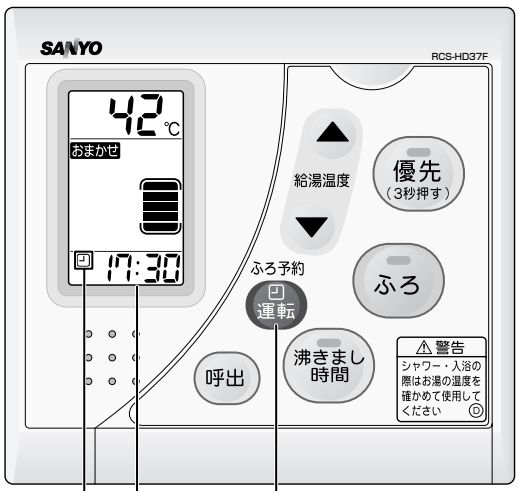
ふろ予約設定時の表示



ふろ予約設定スイッチ

タイマー時刻

タイマーセット時の表示



ふろ予約運転スイッチ

現在時刻

タイマー運転中を表す ⏲ が表示

1 台所リモコンのふたを開いて 設定 を押す

⏲が表示され、時刻が点滅表示します。

台所 ♪ 予約時刻が変更できます。

2 ＋ 時計/休止日数 － で設定する

＋を押すと時刻が進みます

－を押すと時刻が戻ります

※時計は24時間表示になっています。午後8：00にタイマーをセットする場合は、20：00と設定してください。

台所 ♪ よければ設定スイッチを押してください。

3 設定 を押す

● タイマー時刻がセットされました。表示は現在時刻に戻ります。

台所 ♪ 変更しました。

4 台所リモコンのふたを閉じて 運転 を押す

● ふろ予約がセットされました。表示部に ⏲ が表示されます。
現在時刻表示部にタイマー時刻が3秒間表示されます。

台所 ♪ 予約しました。

一度セットすると
タイマー時刻は記憶されますので、次回からの同じ時刻のセットは 運転 を押すだけでタイマー運転ができます。
※タイマー運転は湯張りを行うごとに設定してください。

タイマー運転の解除

● もう一度 運転 を押し、⏲表示が消えるのを確認します。

台所 ♪ 予約を取消しました。

タイマー時刻を変更させるとき

● タイマー運転を解除してから
1 ～ **3** の操作をしてください。

タイマー時刻設定の確認

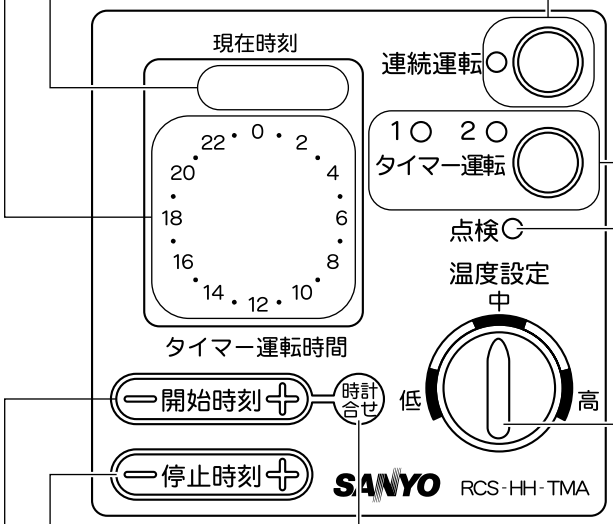
● 運転 を押すと確認できます。

メモ

- タイマー時刻の設定は、入浴時刻（湯張り完了時刻）の1時間以上前に行ってください。予約時刻の1時間前になると、ふろ残り湯の確認動作を行います。
- 1時間以内にセットした場合は、すぐにふろ残り湯の確認動作を行います。また、予約した時刻に湯張りが完了しないことがあります。
- 残り湯がある場合は、設定された時間までに沸き上がらない場合があります。
- ふろ自動運転を行う（19ページ参照）からの操作を行っていない場合は、ふろ温度・ふろ水位を設定してからタイマー運転を行ってください。

各部のなまえ

暖房リモコン



タイマー運転時間表示

タイマー運転時間を表示します。
（34 ページ）

現在時刻表示

現在時刻を表示します。
（31 ページ）

停止時刻スイッチ

タイマーの停止時刻を合わせます。
ー…時刻をもどす。
＋…時刻をすすめる。
（34 ページ）

開始時刻スイッチ

現在時刻とタイマーの開始時刻を合わせます。
ー…時刻をもどす。
＋…時刻をすすめる。
（31、34 ページ）

連続運転スイッチ

連続運転の「入」・「切」をします。

連続運転ランプ
点灯…連続運転中
（33 ページ）

タイマー運転スイッチ

タイマー運転の「セット」・「解除」をします。

タイマー1・2ランプ
点灯…タイマー運転中
（34 ページ）

点検ランプ

点灯…暖房ユニットの安全装置が作動しています。
（36 ページ）

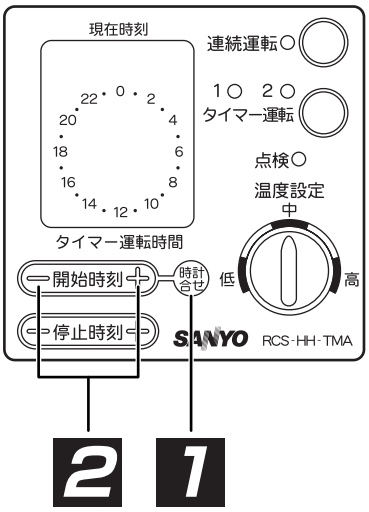
温度設定つまみ

温度調節をします。
（33 ページ）

時計合せスイッチ

現在時刻を合わせるときに使用します。
（31 ページ）

現在時刻の合わせかた



●時計は24時間表示になっています。

（例）17：30（午後5時30分）に合わせるとき

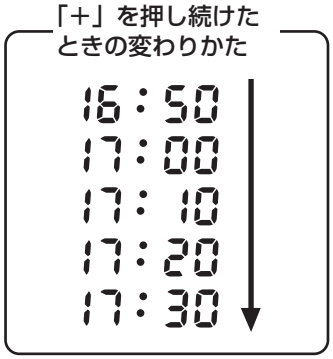
1 時計合せスイッチを押す

- 現在時刻表示が「 −:−− 」のときは0：00が点滅します。
  それ以外のときは現在時刻が点滅します。

2 開始時刻スイッチの「＋」「−」で合わせる

- 開始時刻スイッチを1回押すごとに1分ずつ変わります。
  （＋を押すと時刻がすすみ、−を押すと時刻がもどります。）
- 押し続けると連続して変わります。
- 押し続けて下1ケタが0になると、10分単位で変わります。
- 下1ケタは1回ずつ押して合わせてください。

「＋」を押し続けたときの変わりかた



3 セット完了

- 点滅中に時刻合せスイッチを押すと、点滅から点灯に変わりセット完了です。

※操作中に5秒間、開始時刻スイッチを押さないと、点滅から点灯に変わります。

メモ

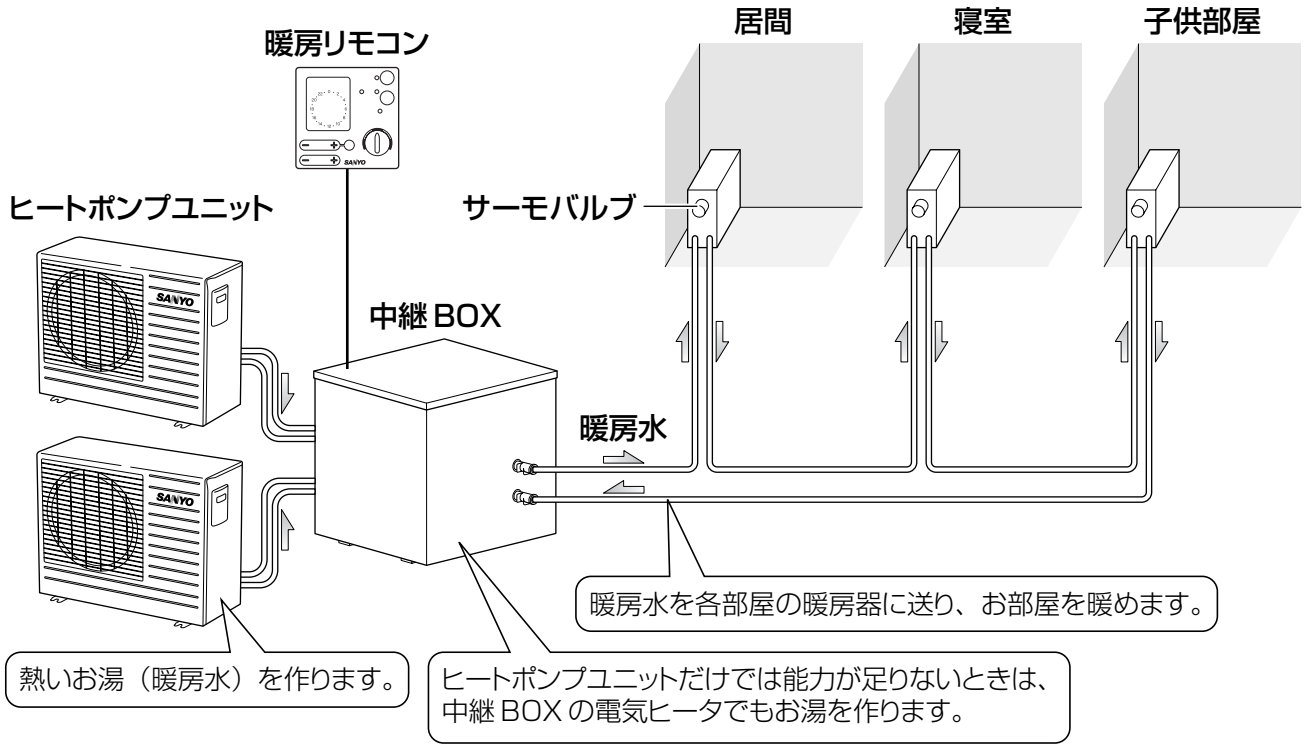
- 電源ブレーカーを切ったり、停電した場合で復帰後、時刻表示が「− −−」になっている場合は、現在時刻合わせをやりなおしてください。
- 現在時刻は、運転中でも停止中でも設定できます。

暖房運転を行う

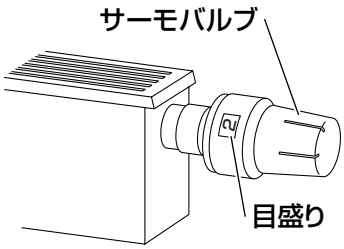
暖房運転のしくみについて

お使いの暖房システムは、「ヒートポンプユニット」で沸かしたお湯（暖房水）を各部屋の暖房器（パネルラジエーター等）に送ることでお部屋を暖めています。

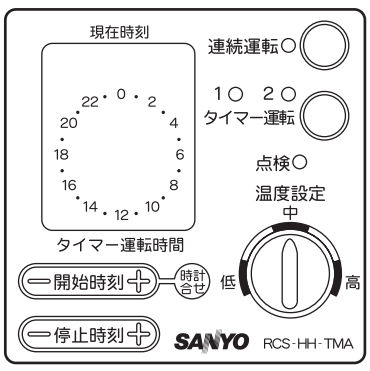
暖房器を複数設置していると、各部屋の暖房器に流れる暖房水の温度が変化しますので、お部屋の温度は暖房器に付いている、「サーモバルブ」の目盛りで調節してください。



お部屋の温度調節について



お部屋の温度は、各部屋の暖房器に付いている「サーモバルブ」で希望の温度に調節してください。



サーモバルブを最大にしても部屋が寒いとき、または最小にしても部屋が暑いときは、暖房ユニットの能力を調節する必要があります。

暖房ユニットの能力は、リモコンの温度設定つまみを「低」「中」「高」に切り替えて調節してください。

※温度設定を変えた場合は、再度各部屋の温度をサーモバルブで調節してください。

※温度設定つまみの詳細については33ページをご参照ください。

暖房運転を行う

1 連続運転スイッチを押す

● ランプ（緑）が点灯します。

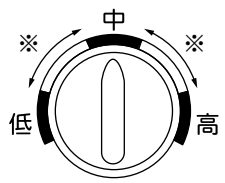
2

を回し、温度を設定する（下記を目安に設定してください。）

● しばらく待つと、暖房端末が暖かくなります。

「温度設定つまみ」の目安

低：サーモバルブの目盛りが最小でも部屋が暑いときに設定してください。
中：標準としてご使用ください。
高：サーモバルブの目盛りが最大でも部屋が暖まらないときに設定してください。



温度設定上の注意

温度設定つまみは、必ず「低」「中」「高」のいずれかの位置に設定してください。

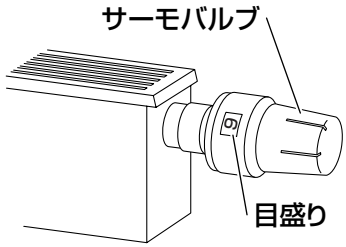
※の部分（左記参照）につまみがあると、ご希望の設定に変更されませんのでご注意ください。

停止させるとき

連続運転スイッチを押す

● ランプ（緑）が消灯します。

部屋をもっと暖めたいとき

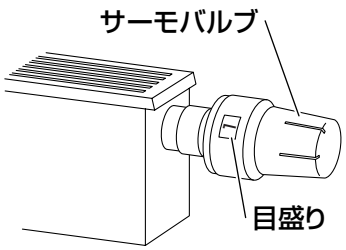


1 暖かくしたい部屋に設置してある暖房器の「サーモバルブ」の目盛りを確認してください。

2 サーモバルブの目盛りが最大でないときは、サーモバルブの目盛りを上げてご使用ください。

3 サーモバルブの目盛りが最大になっているときは、暖房リモコンの温度設定を上げてください。

部屋の温度を下げたいとき



1 温度を下げたい部屋に設置してある暖房器の「サーモバルブ」の目盛りを確認してください。

2 サーモバルブの目盛りが「1」でないときは、サーモバルブの目盛りを下げてご使用ください。

3 サーモバルブの目盛りが「1」になっているときは、暖房リモコンの温度設定を下げてご使用ください。

メモ

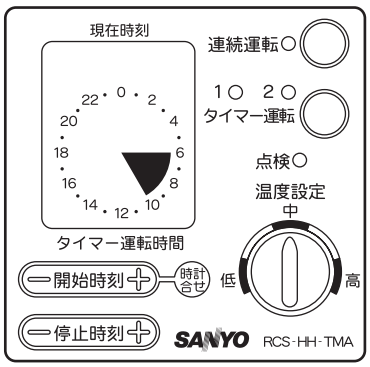
- 暖房運転中は、ヒートポンプユニットが運転と停止を繰り返す場合があります。これは暖房負荷によって断続運転をしているためで、故障ではありません。
- 温度設定つまみは、「高」よりも「中」「低」にしたほうが電気料金が安くなります。
- 暖房負荷が機器の能力を超えた場合、部屋が暖まらなくなる場合があります。
- 停電復帰後、連続運転スイッチのランプ（緑）が消えていたら、連続運転スイッチを入れなおしてください。

暖房

タイマー運転（現在時刻を合わせないと、タイマー運転はできません）

セットした時間に暖房運転を開始させることができます。
タイマー1とタイマー2で、1日2回の運転時間を設定できます。

午前6時から午前10時にセットしたときの表示



タイマー1をセットする

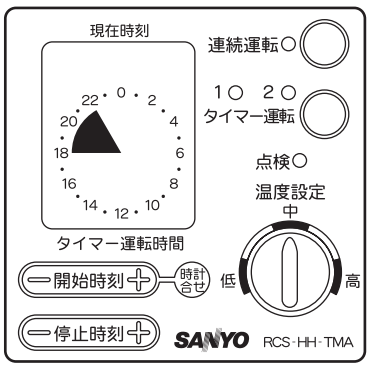
1 タイマー運転スイッチを押す
- タイマー1ランプが点灯します。
- タイマー運転時間が表示されます。

2 開始時刻スイッチの「−」と「+」で開始時刻を合わせます

3 停止時刻スイッチの「−」と「+」で停止時刻を合わせます

4 セット完了
- セットした時間に毎日運転します。

午後6時から午後10時にセットしたときの表示



タイマー2をセットする

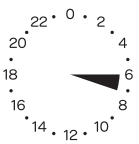
タイマー1がセットしてある状態から

1 タイマー運転スイッチを押す
- タイマー2ランプが点灯します。
- タイマー運転時間が表示されます。

2 開始時刻スイッチの「−」と「+」で開始時刻を合わせます

3 停止時刻スイッチの「−」と「+」で停止時刻を合わせます

4 セット完了
- セットした時間に毎日運転します。



開始時刻と停止時刻を設定しているときにタイマー運転時間が左図のように最小時間（1時間）になってしまって「+」と「−」を押しても変更できないときは、次の手順で設定してください。

①開始時刻を設定している場合は、停止時刻スイッチで変更してください。

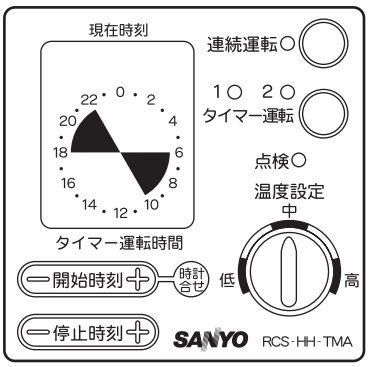
②停止時刻を設定している場合は、開始時刻スイッチで変更してください。

上記の操作でご希望のタイマー運転時間に設定してください。

タイマー運転（つづき）

タイマー1とタイマー2で、1日2回の運転時間を設定できます。

タイマーを2つセットしたときの表示



タイマー1・2の組合せ

タイマー2が点灯している状態から

1 タイマー運転スイッチを押す

● タイマー1・2ランプの両方が点灯します。

2 セット完了

● タイマー1・2でセットした時間に毎日運転します。

タイマー運転の解除

タイマー運転スイッチを押す

● タイマー1・2ランプの両方が消灯するまで押します。
タイマー運転時間も消灯します。

または連続運転スイッチを押す

● 連続運転になります。

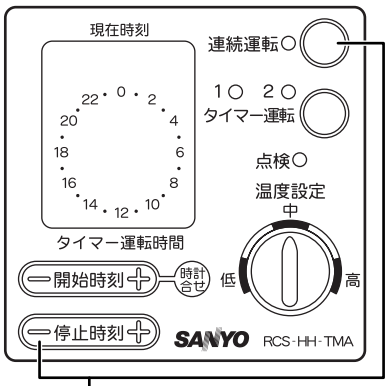
メモ

- タイマー運転中でも現在時刻を変更できます。
- タイマー運転時間は、タイマー運転ランプが点灯しているときのみ表示します。
- タイマー運転時間の変更は、タイマー1またはタイマー2のランプが点灯しているときだけ可能です。
- 連続通電10分経過後、現在時刻とタイマー運転時間は、電源が切れても約10分以内であれば、そのまま記憶しています。また、現在時刻が「－:－－」になっていても、現在時刻を再度合わせると、タイマー運転時間はそのまま記憶していますので、タイマー運転時間をセットし直す必要はありません。
なお、停電時間が約10分以上の倍場合は再度現在時刻を設定してください。
- 停電からの復帰後、初めの1時間のみ温度設定つまみが「低」「中」「高」のどの位置にあっても「高」の運転を行います。

ヒートポンプユニット異常時の応急運転について

この機器は『ヒートポンプユニット（2台）』と『電気ヒータ』を使用して暖房運転を行いますが、1台のヒートポンプユニットに異常が発生した場合でも、もう1台のヒートポンプユニットを運転させて自動的に暖房運転を継続します。
（ヒートポンプユニットに異常が発生している場合は、全てのリモコンにエラーが表示されます。）

※46ページをご参照いただき、処置を行ってもエラー表示が消えない場合は必ずお買い上げの販売店へご連絡ください。
※異常の内容によっては応急運転が動作しない場合もあります。



電気ヒータも動作させる場合

ヒートポンプユニットに異常が発生している場合（暖房リモコンの点検ランプ点灯時）に連続運転スイッチと停止時刻スイッチの「−」を同時に押すと、「電気ヒータ」を動作させることができます。

● 動作すると「連続運転ランプ」が点滅します。

メモ

電気ヒータを動作させると暖房能力が上がりますが、電気料金は高くなります。

※ ヒートポンプユニット故障時の動作については、下記の表をご参照ください。

● 電気ヒータの動作を停止させるときは「連続運転スイッチ」を押してください。

ヒートポンプユニット故障時における動作一覧

暖房用機器	暖房用機器の状態　正常：○　故障：×			
①暖房用ヒートポンプユニット（HP−A）	○	×	×	×
②貯湯用ヒートポンプユニット（HP−B）	×	○	貯湯運転中	×
③電気ヒータ	○	○	○	○
故障時は右記のように動作します　>>	①のみ運転します	②のみ運転します	③のみ運転します	
連続運転スイッチと停止時刻の「−」を同時に押すと　>>	①と③が運転します	②と③が運転します	③のみ運転します	

参考

〈各暖房用ユニットの詳細〉

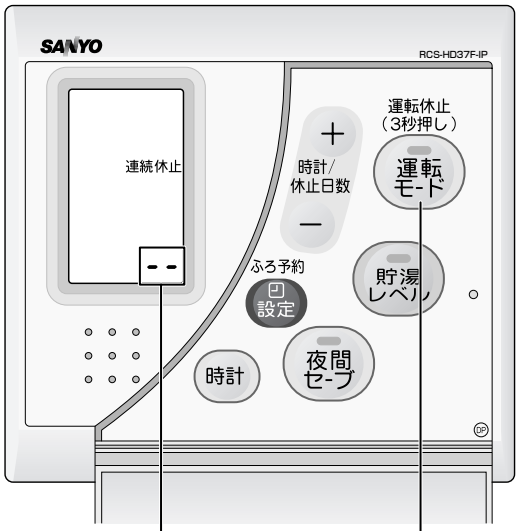
ユニット名	ユニットの詳細
1. 暖房用ヒートポンプユニット	暖房専用のユニットです。熱いお湯（暖房水）を作ります。
2. 貯湯用ヒートポンプユニット	給湯用のヒートポンプユニットですが、暖房用ヒートポンプユニット1台だけでは能力が不足するときに中継BOXを介して暖房運転します。
3. 中継BOXの電気ヒータ	暖房能力が「暖房用ヒートポンプユニット」と「貯湯用ヒートポンプユニット」を使用しても不足しているときに動作します。 また、「貯湯用ヒートポンプユニット」がタンクユニットへの沸き上げ運転を行っている場合で、暖房能力が不足しているときにも動作します。 ヒートポンプユニットが2台とも故障したときに手動で動作させることができます。

お願い！

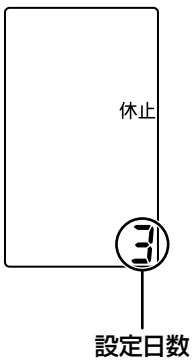
●「暖房用ヒートポンプユニット」には「不凍液」が入っておりますので、万一「貯湯用ヒートポンプ」が故障した場合には転用できません。

数日間お湯を使用しないとき(運転休止)

数日間家を不在にするときなど「運転休止」を選択すると、その間沸き上げを行いません。



設定日数「3」を設定したとき



1 台所リモコンのふたを開けた状態で 運転モード を約3秒押す

「連続休止」表示と「－　－」が表示され、運転休止日数が設定できます。

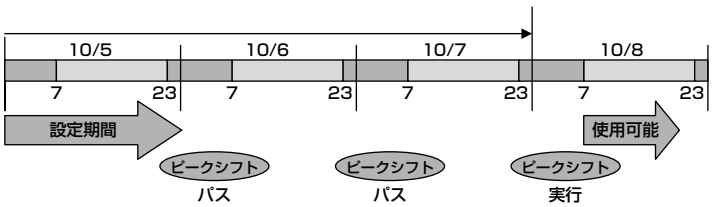
♪ 運転休止を設定しました。

2 時計/休止日数 を押して運転休止日数を設定する

● 設定日数は2～14日間と「－　－」で連続が選択できます。運転休止日数を経過すると自動的に復帰し運転を再開します。

♪ 変更しました。

(例) 10月5日に設定し10月8日の朝以降にお湯が使える状態にするには、8－5＝3日ですので、設定日数は「3」を入れます。



※「－　－」は連続休止となり解除するまで運転を休止します。

解除するとき

3 運転モード を約3秒押す

お願い!

- 6日間以上停止した後に再使用するときは、タンクの水を入れ替えてください。(38ページ参照)
- 運転休止を解除すると、運転モードは運転休止前の状態に戻ります。
- 休止を設定していて解除後、タンク内にお湯が少ないとき、またはお急ぎのときは、沸きまし時間 を押してご使用ください。

メモ

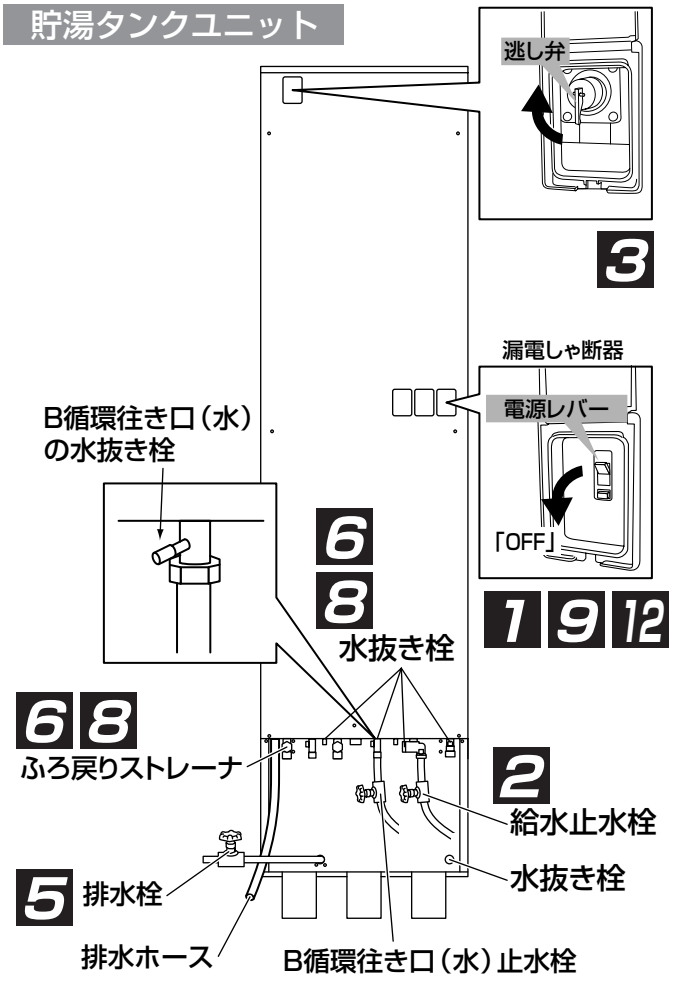
- 漏電しゃ断器の電源レバーは「OFF」にしないでください。
- 運転休止中でも凍結のおそれのある場合は、ヒートポンプユニットが自動的に運転し、凍結予防運転を行います。

水抜きおよび再運転の手順

お湯を長期間使用しなかった後は、下記の手順で貯湯タンクユニットおよび貯湯用ヒートポンプユニットの水を入れ替えてください。

※凍結予防のために水抜きを行う場合は、工事説明書（31ページ）に記載している方法で水抜きを行うよう、販売店に依頼してください。

貯湯タンクユニット



1 タンクユニットの漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にする→（3箇所とも）

2 給水止水栓を閉じる

3 逃し弁のレバーを上げる

4 蛇口の湯水混合栓をお湯側にして開く

5 排水栓を開く
- 水が抜けるまでに約30～40分かかります。

6 タンクユニットの水抜き栓（5箇所）と、ふろ戻りストレーナをゆるめる

7 貯湯用ヒートポンプユニットBの水抜き栓（3箇所）を全てゆるめる

8 水が出なくなったら水抜き栓（5＋3箇所）と、ふろ戻りストレーナを閉じる
- 高温水が出る場合がありますので、冷えてから行ってください。
（注）ゆるめすぎると水抜き栓が抜けてしまいますので気をつけてください。

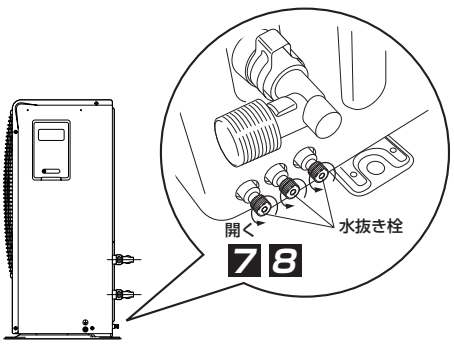
9 タンクユニットの漏電しゃ断器の電源レバーを「ON」にする（3箇所）

10 台所リモコン、またはふろリモコンの（ふろ）を押す

11 リモコンに「F14」と表示されるまで待ちます。（約1分程）

12 タンクユニットの漏電しゃ断器を「OFF」にする（3箇所）
- （ふろ）を押すことによって、タンクユニット内部の動作弁を一時的に動かし、水抜きをしています。
- リモコンに表示された「F14」は、再運転させたときに自動で解除されます。

ヒートポンプユニット



再運転させるとき

① 排水栓を閉じる
② 逃し弁のレバーを上げる
③ 給水止水栓を開く
- タンクに水が貯まるまで約20～30分かかります。
- 排水ホースから水がでてきたら貯湯タンクユニットは満水です。

④ 逃し弁のレバーを下げる
⑤ B循環往き口(水)止水栓を閉じる
⑥ B循環往き口(水)の水抜き栓を開き、水と空気を1～2分出したら閉じる
⑦ B循環往き口(水)止水栓を開く
⑧ 貯湯用ヒートポンプユニットBの水抜き栓(3箇所)を全てゆるめ、水と空気を1～2分出したら閉じる
⑨ 各接続部の水漏れがないか確認する
⑩ 蛇口の湯水混合栓をお湯側にして開き、水が出ることを確認する
⑪ 貯湯タンクユニットの漏電しゃ断器の電源レバーを「ON」にする→(3箇所とも)
⑫ 台所リモコンで現在時刻を合わせる（11ページ）
⑬ 台所リモコンで運転モードを設定する（12ページ）

- 再運転後は、まず（沸きまし時間）を押し、沸きまし運転をすることを、おすすめします。
- 沸き上がり後、湯水混合栓を、お湯側にして開くとお湯が出ます。

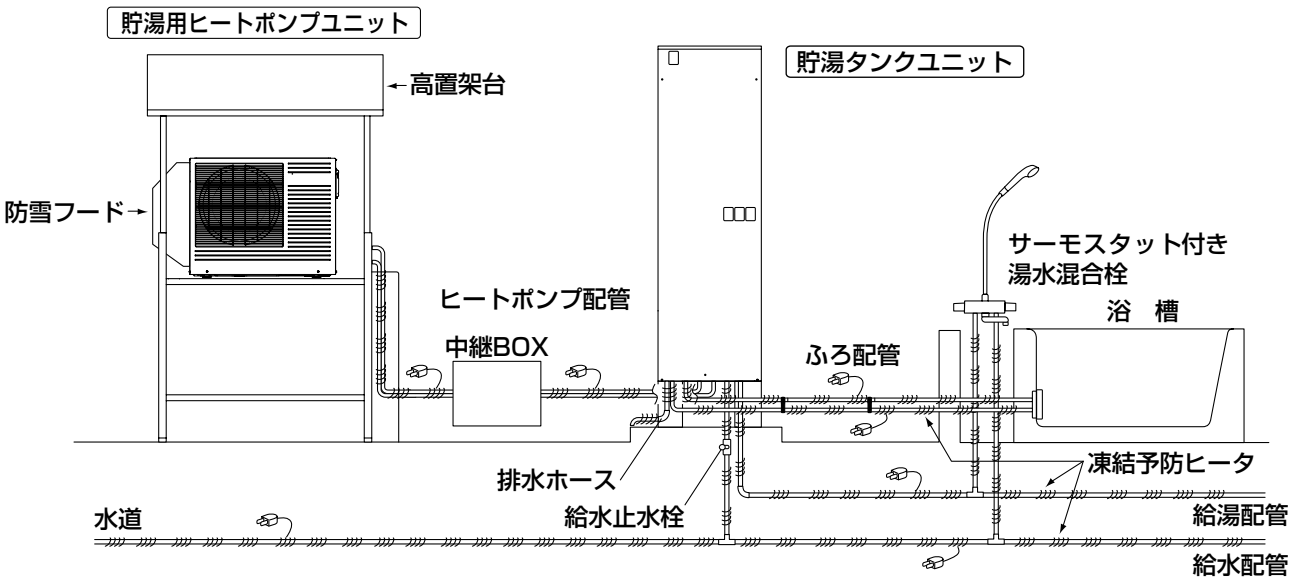
凍結予防／定期点検

凍結予防

冬期は、ヒートポンプ配管・ふろ配管・給水配管・給湯配管・排水管、器具本体の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので下記方法で凍結予防をしてください。
（凍結による故障は保証期間内でも有償修理となります。）

凍結予防ヒータ （現地手配）

- 凍結予防ヒータを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 凍結予防ヒータを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 暖房用ヒートポンプユニットおよび暖房回路には不凍液を使用しておりますので、凍結予防ヒータを使用する必要はありません。



凍結予防運転

ヒートポンプ配管については、外気温が下がると「凍結予防運転」をして機器を保護しますが、配管凍結予防のために凍結予防ヒータを使用してください。

凍結予防運転中は、台所リモコンに「凍結予防表示」が表示されます。
寒冷地では、凍結予防運転の頻度が昼夜を問わず多くなることがありますが、異常ではありません。

定期点検（有料）

3～4年に1回の定期点検のおすすめ

- 本機は、年月の経過により構成部品が劣化します。ご使用条件や運転状況により性能に影響をおよぼし、機能をじゅうぶんに発揮できなくなることがありますので、3～4年に1回の定期点検をおすすめします。
（点検費用など詳しいことは販売店にご相談ください）

定期点検の主な内容

据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認、システムの水漏れ確認 ヒートポンプユニットの運転状態、出湯温度の確認（給湯・注湯）、湯張り確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認） 弁類（減圧弁、逃し弁）、貯湯循環ポンプ、暖房ポンプ、ヒートポンプユニットなどの点検および消耗部品の交換、逆流防止装置

消耗・劣化しやすい部品

「減圧弁」、「逃し弁」、「貯湯循環ポンプ」、「逆流防止装置」、「電動混合弁」、「暖房ポンプ」、「不凍液」、「Oリング」、「ゴムホース」

お手入れのしかた

安全に使っていただくために、点検・お手入れは定期的に行ってください。

日常の点検・お手入れ

リモコンのお手入れ

● 表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で軽く拭いてください。
（リモコン内部に水が入ると故障の原因になります。また、液晶や蛍光表示管の表示部を強く押しますと故障の原因となります。）

3年に1回

暖房回路に使用している不凍液の交換

不凍液は3年程で中に含まれている防錆剤の効果が無くなりますので、新しいものに交換してください。
長期間交換しないでお使いになられますと、機器の寿命が短くなります。
※不凍液は必ず別売の「HBAF-10LH70」を使用してください。その他の不凍液を使用して不具合が発生した場合は、無償保証の対象外となります。

1ヵ月に1回程度

漏電しゃ断器の動作点検

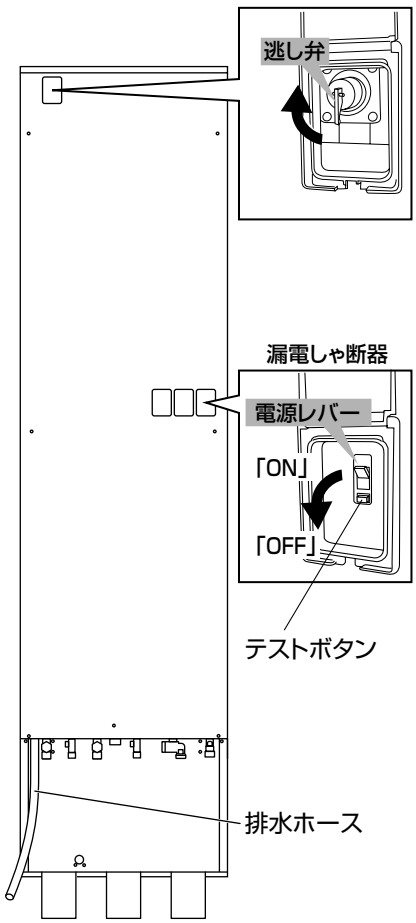
漏電しゃ断器の点検は、電源供給中に行ってください。

1. テストボタンを押す

漏電しゃ断器の電源レバーが3箇所全て「OFF」になれば正常です。
「OFF」にならない場合は、据付工事店に連絡してくださ い。

電源レバーがいきおいよく下がりますので注意してください。

2. 必ず電源レバーを3箇所全て「ON」に戻す



1ヵ月に1～2回

逃し弁の点検

動作点検と水漏れ点検を行います。

動作点検

逃し弁のレバーを上げ、水（湯）が排水ホースから出ることを確認する。

水漏れ点検

逃し弁のレバーを元にもどし、水（湯）が排水ホースから出なくなることを確認する。
（必ずヒートポンプ運転が停止中に行ってください。）
※点検後は、必ず逃し弁のレバーが下がっていることを確認し、点検窓を閉めてください。

お手入れのしかた（つづき）

6ヵ月に1回以上

タンクのお手入れ

1. タンクユニットの排水栓を約1～2分間開く
   タンクの下部にたまった汚れを排水します。
   排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調節してください。
2. 汚れがなくなったら排水栓を閉じる
   汚れが多い場合は、数回繰り返します。

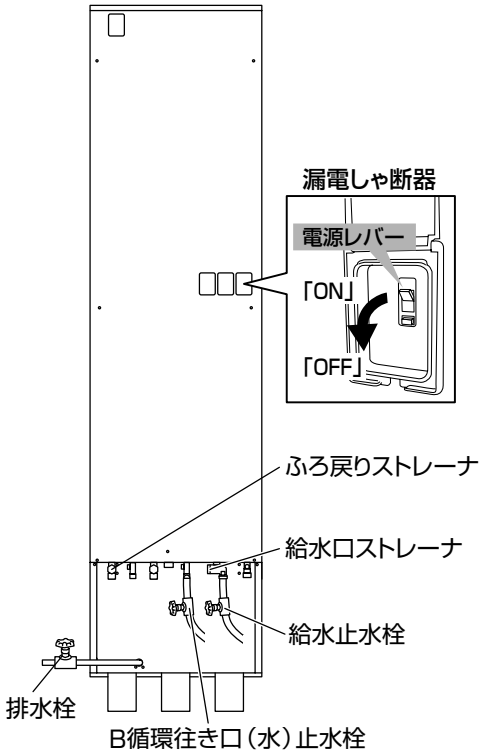
配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。
水漏れが生じている場合は、据付工事店に連絡してください。
特に冬季に入る前には、必ず保温材の点検を行ってください。
破損している場合は、凍結し本体や配管が破損することがありますので据付工事店に連絡してください。

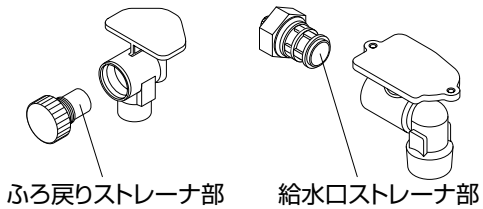
ストレーナの点検

・「給水口ストレーナ」、「ふろ戻りストレーナ」の2箇所を点検してください。

①タンクユニットの漏電しゃ断器の電源レバー（3箇所）を「OFF」にします。
②ヒートポンプユニットが停止したことを確認して給水止水栓を閉じます。
③逃がし弁のレバーを約5秒間上げた後、下げます。
④B循環往き口（水）の止水栓を閉めます。
⑤スパナを使用して「給水口ストレーナ」と「ふろ戻りストレーナ」を取り出し、ゴミ詰まりを確認します。
※熱いお湯が出たり、ストレーナ部が熱くなっていたりしますので、やけどに注意してください。
⑥「給水口ストレーナ」と「ふろ戻りストレーナ」を元に戻します。
⑦B循環往き口（水）の止水栓を開け、給水止水栓を開けてください。
⑧タンクユニットの漏電しゃ断器の電源レバー（3箇所）を「ON」にします。



〈各ストレーナ部〉



1年に1回

- 機器内の水をすべて排水する（38ページ）
- 排水完了後、水の濁りがなくなるまで、給水・排水を繰り返す
- 運転する（38ページの 再運転させるとき に従ってください。）

3～4年に1回

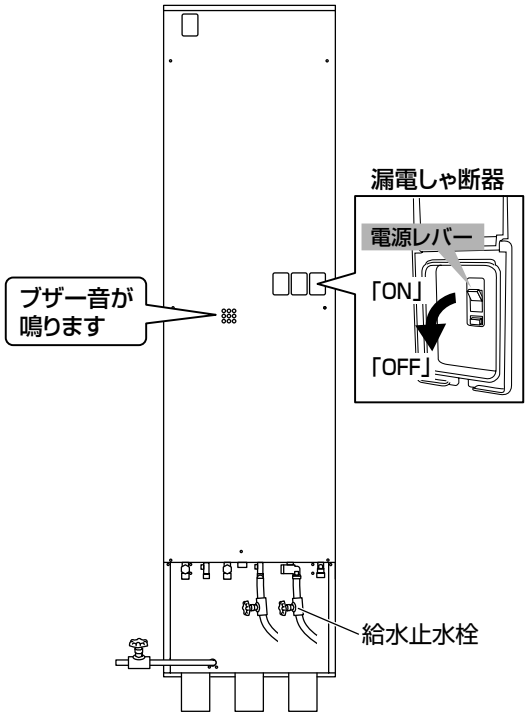
- 逆流防止装置の点検（有料）

知っておいていただきたいこと

水漏れが起きた際のご対応について

貯湯タンクユニットは室内置きのため、水漏れを検知する機能が付いております。配管や継手、タンク缶体からの水漏れが一定量を超えると、貯湯タンクユニット本体から「ブザー音」が流れます。
また、台所リモコンとふろリモコン表示部にエラーコード「F46」が表示されます。

このような場合は貯湯タンクユニットの漏電しゃ断器レバー（右側のみ）をOFFにし、給水止水栓を閉じて販売店へご連絡ください。



外気温度と加熱能力の関係について

エアコンと同じように外気の熱をくみ上げて水を沸き上げるシステムのため、外気温度や給水温度が低くなると沸き上げ能力が低下したり、タンクユニットへの貯湯に時間がかかる場合があります。

ヒートポンプユニットの自動除霜運転について

外気温度が下がり、湿度が高いときはヒートポンプユニットの熱交換器に霜や氷が付き、そのままでは加熱能力が下がります。そのため自動的に霜取り運転を行い、タンクユニットへの貯湯や暖房は行いません。
霜取り運転終了後は、自動的に通常運転に戻ります。

ヒートポンプユニットの結露水について

ヒートポンプユニットの熱交換器に結露し、この結露水がドレン口から排水されます。
湿度の高いときの運転時や自動除霜運転時は排水量が増える場合があります。

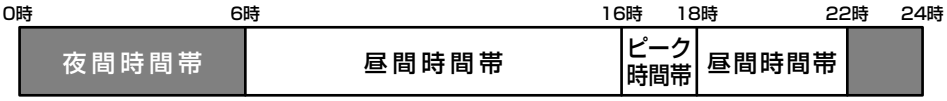
契約電力制度について

■契約電力制度について

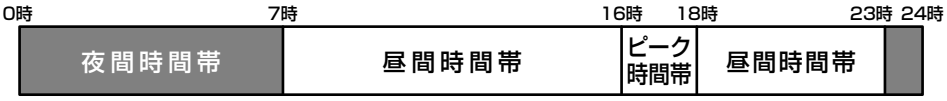
本製品は「3時間帯別電灯（eタイム3）」／「ピーク抑制型時間帯別電灯（ドリーム8エコ）」／「時間帯別電灯（ドリーム8）」契約システムに対応しています。
この契約システムは昼間時間帯と夜間時間帯など、時間帯に分けて電力料金を計算します。
■地域により適用となる電力料金体系が異なります。契約申請や下記にない電力料金体系等については、販売店またはもよりの電力会社へお問合せください。
■「eタイム3（3時間帯別電灯）」契約をおすすめします。（下記 4）

■本製品は、下記のモードを設定してあります。

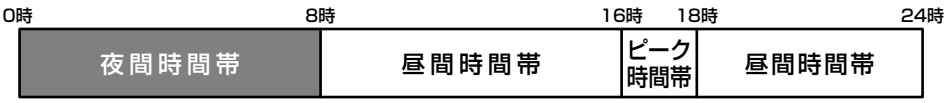
1. 運転モードA（ドリーム8エコ）



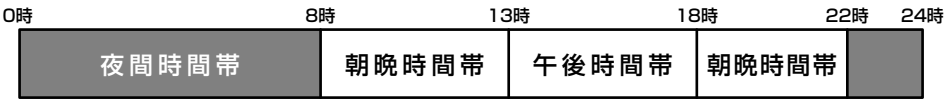
2. 運転モードB（ドリーム8エコ）



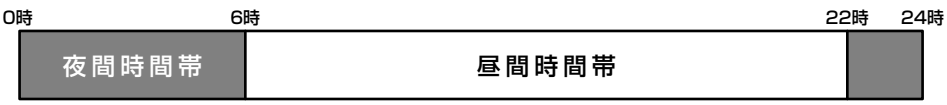
3. 運転モードC（ドリーム8エコ）



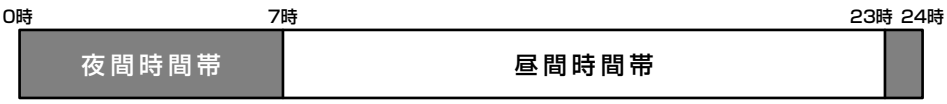
4. 運転モードD（eタイム3）



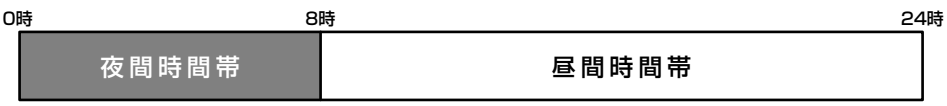
5. 運転モードE（ドリーム8）



6. 運転モードF（ドリーム8）



7. 運転モードG（ドリーム8）



※モードは1～7の7モードを設定できます。

お願い！

● すでに契約電力制度に合わせて設定されている場合は、変更しないでください。
通常、据付け時に設定しています。適用電力制度が合っていないと思わぬ電気料金がかかることがあります。

停電・断水のとき・災害時のとき

停電したとき

本機は、メモリ機能がついていますので、短時間の停電であれば、「現在時刻」や「タイマー時刻」は記憶しています。
ただし、リモコンの時刻表示が「 - --」になった場合は、使いかたの説明のページに従って再設定してください。

次の場合も、処置をしてください。

- ふろ湯張り中は
  瞬時停電の場合は問題ありませんが、「停止」している場合は、排水をしてから再度ふろスイッチを押してください。
  また、浴槽の湯が冷めてしまった場合や湯張り中の場合も排水をしてからふろスイッチを押してください。
- ヒートポンプの沸き上げ
  時刻表示が「 - --」の場合は、必ず時刻を合わせをしてください。
- 停電復帰後、暖房リモコンの連続運転スイッチのランプ（緑）が消えていたら連続運転スイッチを入れ直してください。

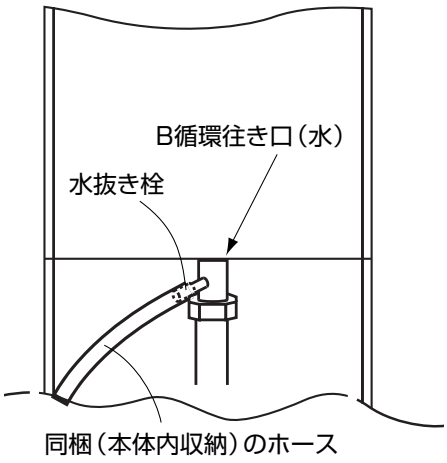
断水や近くで水道工事が行われるとき

工事が行われる前に、使用を中止してから給水止水栓を閉じてください。
工事が終了したら、水道用水栓を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水止水栓を開いて使用を再開してください。

災害時のとき

地震などの災害時や断水時に貯湯タンク内の水を生活用水（雑用水）として利用できます。

① 貯湯タンクユニットの漏電しゃ断器を「OFF」にする
② 給水止水栓を閉じる。
③ 逃し弁のレバーを上げる。
④ B循環往き口（水）の水抜き栓を開く。
⑤ 同梱（本体内収納）のホースをB循環往き口（水）の水抜き栓へ差し込む。タンクの水をバケツなどで受けてください。



〈取水が終ったら〉

- 同梱（本体内収納）のホースを取りはずし、B循環往き口（水）の水抜き栓を閉める。

〈再びご使用になるときは〉

- 38ページの 再運転させるとき に従ってください。

⚠警告

- 水抜き栓を開くときやホースからは、熱湯が出てくることがあります。やけどに注意してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に

次のような状態は故障ではありません。

症　状	原　因・処　置
ヒートポンプユニットが運転／停止をくり返す	凍結予防運転をしている場合は、間欠運転をします。 （39ページ）
運転中、ヒートポンプユニットの熱交換器が白くなる	冬期運転中は熱交換器に霜が付くことがあります。 霜が多くなると自動的に霜取り運転します。
ヒートポンプユニットのファンが運転／停止をくり返す	熱交換器に付いた霜を取り除くため、自動的に霜取り運転を行っているためです。
逃し弁からお湯が出てくる	運転時は、タンクユニット内の水の温度が上昇して膨張し、その膨張分が逃し弁から排出されたものです。
お湯が白く濁ってみえる	水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくるためです。
夜間時間帯になっても、すぐ沸き上げを行わない 夜間時間帯にヒートポンプユニットが動いていない	給水温度が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐに沸き上げを行いません。 夜間時間帯が終了する時間に合わせて沸き上げを完了させます。 （ピークシフト機能）
沸き上げ運転中にヒートポンプユニットのドレン口から水が出る	運転中は熱交換器に空気中の湿度が結露し、水が出てくることがあるためです。
お湯から油が出る、お湯が臭い	はじめて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合があるためです。しばらくすると消えます。 消えない場合は販売店に相談してください。
リモコンの時刻表示が「 ー ーー 」になる	長時間停電した場合は表示が「 ー ーー 」になります。 時刻合わせをしてください。（11ページ）
水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	●透明なガラスのコップに水を入れ、無色透明でしたら異常ではありません。 ●浴槽や洗面台に付着したせっけんや湯あかと水中に含まれるわずかな銅イオンが反応し、銅せっけんとなって浴槽の水が青く見えたり、浴槽や洗面台が青く変色したりすることがあります。 健康上の問題はありませんので、浴槽や洗面台はふろ用洗剤を使用して掃除してください。
リモコンから音が出ない	設定がOFFになっていませんか。 設定を変更してください。（28ページ）
シャワーが弱い	●給湯の設定温度を上げて水と混ぜると、シャワー圧が上がる場合があります。 ●「低水圧用シャワーヘッド」に交換すると、シャワーの勢いが強くなります。
ふろ自動運転中に湯張りが停止する	浴槽水を確認するためで異常ではありません。 （約3～5分かかる場合があります。）
湯張り時間が長い 給湯の出が悪い	給水圧が低い場合やストレーナがつまっている場合がありますので、販売店に相談してください。

リモコンにエラー表示された場合

■ お知らせ表示（故障ではありません）

台所リモコンおよびふろリモコンの時計表示部に下記のエラー表示が点滅した場合は、次の処置をしてください。

表　示	原　　因	処　　置	エラー表示のリセット
F 14	給水止水栓が閉まっている場合。	給水止水栓を開いてください。	ふろスイッチを押すか、優先スイッチを押すか、蛇口からお湯を出すかすると消えます。 ※それでもエラー表示が出る場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
F 23	ヒートポンプユニットとタンクユニットの循環にエアカミなどがある場合。	38ページの **再運転させるとき** に従ってください。	
F 41	浴槽の排水栓を開けたままふろ自動運転をした場合や、ふろ自動運転中に排水栓を抜いた場合。	浴槽の排水栓を閉じてから、再度ふろスイッチを押してください。	
F 42	設置後最初の湯張りが途中で止まった場合。	浴槽の残水を排水してから、再度ふろスイッチを押してください。	
F 44	追いだきを1時間行ってもふろ設定温度まで達しなかった場合。	残り湯を完全に排水してから、ふろスイッチを押してください。湯量を確認し、19ページを参照してください。	
F 46	タンクユニットの水漏れ	漏電しゃ断器の電源レバーを右側のみ「OFF」にし、給水栓を閉じてください。	お買い上げの販売店へご連絡ください。
Lo	ふろ自動運転中および追いだき運転中に湯切れとなった場合。	リモコンの「タンク残量表示」が3つ以上になるまで待ってください。	リモコンのふろスイッチまたは、追いだきスイッチを2回押してください。
Err	リモコンの機種違いの場合。	お買い上げの販売店へご連絡ください。	――

■ 貯湯関係のエラー

表　示	エラーが表示されるリモコン	原　　因	処　　置
H01 ～ H17	台所リモコン ふろリモコン	貯湯用ヒートポンプユニット関係の表示です。（※1）	●ふろスイッチを押す ●優先スイッチを押す ●蛇口からお湯を出す ●暖房リモコンの「連続運転」スイッチを再ONさせる のいずれかの操作を行ってもエラー表示が消えない場合は、お買いあげの販売店へご連絡ください。
F01 ～ F55		貯湯タンクユニット関係の表示です。	

■ 暖房関係のエラー

表　示	エラーが表示されるリモコン	原　　因	処　　置
A01 ～ A54	台所リモコン ふろリモコン 暖房リモコン	中継BOX関係の表示です。	●暖房リモコンの「連続運転」スイッチを再ONさせる 上記の操作を行ってもエラー表示が消えない場合は、お買いあげの販売店へご連絡ください。
C01 ～ C17		貯湯用ヒートポンプ関係の表示です。	
d01 ～ d17		暖房用ヒートポンプユニット関係の表示です。	

■ 通信エラー

表　示	エラーが表示されるリモコン	原　　因	処　　置
F 33	台所リモコン ふろリモコン	貯湯用ヒートポンプユニットの通信エラーです。	お買いあげの販売店へご連絡ください。
d 33	暖房リモコン	暖房用ヒートポンプユニットの通信エラーです。	

エラー発生時の応急暖房運転について

この機器は1台のヒートポンプユニットに異常が発生した場合でも、もう1台のヒートポンプユニットを運転させて自動的に暖房運転を継続します。
（ヒートポンプユニットに異常が発生している場合は、すべてのリモコンにエラーが表示されます。）
※上記の処置を行ってもエラー表示が消えない場合は必ずお買い上げの販売店へご連絡ください。

メモ

●発生したエラーの種類によっては、リモコンのスイッチを受け付けても、動作しない場合があります。

故障かな？と思ったら（つづき）

エラー表示がない場合

症　状	原　因	処　置
リモコンの表示がでない（電源が入らない）	200V電源ブレーカーが「切（OFF)]になっている。	「切（OFF)]になっている場合は、「入（ON）」にする。（3箇所とも）
	漏電しゃ断器の電源レバーが「切（OFF)]になっている。	「切（OFF)]になっている場合は、「入（ON）」にする。（3箇所とも） 再度「切（OFF)]になる場合は、そのまま販売店へご連絡ください。
	停電している	停電が復帰するまで待つ。
お湯が出ない お湯の出が悪い	給水止水栓が閉じている	給水止水栓を開く。
	断水している／給水圧が低い	水道局または管理者へ問い合わせる。
	給水ストレーナにゴミが詰っている	販売店へご連絡ください。
	配管が凍結している	
	停電している	停電が復帰まで待つ。
お湯がぬるい お湯が足りない	給湯温度の設定が低い	給湯温度の設定を高くする。
	沸き上げ運転時以外でも、排水ホースからお湯（水）が出ている	逃し弁の点検をする。（40ページ） 逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、販売店へご連絡ください。
	タンク内のお湯がない	14ページのタンク残湯表示をめやすに運転モードを切り替える。
浴槽のお湯が熱い	ふろ温度の設定が高い	ふろ温度の設定を低くする。または、水道からさし水をする。
	追いだき、または差し湯運転中	追いだき、または差し湯運転を解除する。
浴槽のお湯がぬるい	ふろ配管の保温工事が不完全	工事説明書14、30ページを参照し、販売店へご連絡ください。
浴槽のお湯が少ない	ふろの水位設定が低い	水位設定を高くする。
浴槽のお湯が多い	ふろの水位設定が高い	水位設定を低くする。
	浴槽に残湯が多い状態で湯張りした	浴槽の残湯を排水してから湯張りする。
追いだき運転ができない	湯張り中	湯張りが完了してから追いだき運転する。
	湯量注意が点灯	湯量注意が消えるまで待ってから追いだき運転する。
	蛇口でお湯を使用している	蛇口でお湯を使用しているときは、追いだき運転が一時中断する場合があります。
給湯温度を変更できない	リモコンに優先権がない	リモコンの、優先スイッチを押してから、給湯温度を変更する。
ヒートポンプユニットの停止中に排水口から水が出ている	逃し弁の故障	逃し弁の点検をする。（40ページ） 逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、販売店へご連絡ください。
お湯が設定温度にならない	蛇口からのお湯が極端に少ない場合	蛇口をもっと開く。
	給水温度が高い場合	蛇口から2～3分水を出してください。

症　状	原　因	処　置
部屋が暖まらない	200V電源ブレーカーが「切（OFF)]になっている。	「切（OFF)]になっている場合は、「入（ON）」にする。（3箇所とも）
	停電している。	停電が復帰するまで待つ。
	温度設定つまみが「低」になっている。	温度設定つまみを「中」または「高」にする。
	放熱器のサーモバルブが閉じているか開きが小さい。	サーモバルブの開きを大きくする。
	暖房能力が不足している。	使用していない部屋の、放熱器のサーモバルブを閉じる。
	暖房配管内にエアーがたまっている。	販売店へ連絡し、エア抜きを行う。
暖房器の両端で温度差が大きい	サーモバルブをしぼると、温度ムラが起こる場合があります。	正常です。
	暖房器のエアが抜けていない。	販売店へ連絡し、エア抜きを行う。

仕　様

システム

種類		屋内型
型式（セット品番）		SHP−TCCH37F−GK
適用電力制度		ピーク抑制型時間帯別電灯（ドリーム8エコ）
電源		単相200V　最大電流52A
周波数		50Hz／60Hz共用
給水装置認証登録番号		A−419
仕向地		次世代省エネルギー基準Ⅰ、Ⅱ地域対応（−25℃以下地区除く）
リモコン	台所・ふろリモコンセット （台所リモコン） （ふろリモコン）	RCS−HS37F−IP （RCS−HD37F−IP） （RCS−HF37E−IP）
	暖房リモコン	RCS−HH−TMA
システム構成		ヒートポンプユニット2台、中継BOX、タンクユニット、 台所リモコン・ふろリモコン・暖房リモコン

ヒートポンプユニット

型式		SHP−CH60F−GK
使用冷媒および封入量		CO_2　0.98kg
外形寸法（H×W×D）		690×840×290mm（突起部除く）
製品質量		66kg
貯湯	定格加熱能力／消費電力　※1	6kW／1.40kW
	夏期加熱能力／消費電力　※2	6kW／1.29kW
	冬期加熱能力／消費電力　※3	6kW／1.65kW
	冬期高温加熱能力／消費電力　※4	6kW／2.00kW
貯湯沸き上げ温度		約85℃〜約65℃
暖房	最大加熱能力　※6	5kW
	低温時加熱能力　※7	4.7kW
暖房沸き上げ温度		約75℃〜約45℃
運転音　※1		42dB（夜間セーブ運転時40dB）
圧縮機		DCロータリー2段圧縮
熱交換器（蒸発器）		強制空冷式
熱交換器（冷媒対水）		接触式
安全装置		過負荷保護装置、高圧スイッチ、温度過昇防止装置

※1 外気温（乾球温度／湿球温度）16℃／12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃
※2 外気温（乾球温度／湿球温度）25℃／21℃、水温24℃、沸き上げ温度65℃
※3 外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／4℃、水温9℃、沸き上げ温度65℃
※4 外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、水温9℃、沸き上げ温度85℃
※6 外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、沸き上げ60℃、戻り40℃（不凍液）
※7 外気温−20℃、沸き上げ70℃、戻り44℃（不凍液）

タンクユニット

形式		SHP−TH37F−GK
タンク容量		370L
使用圧力		190kPa（1.9kgf／cm²）
外形寸法（H×W×D）		1800×650×740mm
製品質量		98kg（満水時468kg）
消費電力		189W/216W（凍結予防ヒーター含む） （制御基板0.007kW、貯湯循環ポンプ0.008kW）
配管接続口径	給水・給湯 往・戻 ※8	R 3／4（20Aオス）
	ふろ循環 往・戻 ※8	R 1／2（15Aオス）
	中継BOX間接続 ※8	R 1／2（15Aオス）
配管条件	ふろ	φ12.7銅管 または φ10樹脂管 凍結予防ヒータ施工後 保温施工（配管断熱材20mm以上） 配管長15m10曲り以内　鳥居配管3m以内
	貯湯 タンクユニット〜中継BOX〜室外機ユニット	φ12.7銅管 または φ10樹脂管 凍結予防ヒータ施工後 保温施工（配管断熱材20mm以上） 配管長15m6曲り以内　鳥居配管3m以内（1ケ所） 高低差3m以内
ケーブル	電源〜タンクユニット	30A線2本、20A線1本 30A線；3芯φ2.6mmVVFケーブル又は5.5mm²のキャブタイヤコード 20A線；3芯φ2.0mmVVFケーブル
	タンクユニット〜中継BOX	30A線；5.5mm²のキャブタイヤコード 20A線；3芯φ2.0mmVVFケーブル
ふろ自動時間		最大3時間
自動湯張り時間（目安）		約15〜20分（200L　5m配管）
浴槽設置		タンクユニット下端より上4m以内、下1m以内
タンク		特殊ステンレス鋼板
追い焚き熱交換器		プレート式熱交換器
配管内蔵部品		減圧弁・逃がし弁
安全装置		漏電遮断器
付属部品		取扱説明書、工事説明書、保証書、ホース（災害時取水用）

※8 凍結予防対策が別途必要になります。

中継BOX

型式		SHP−HS2A
外形寸法（H×W×D）		417×436×438mm（継手部、足　含む）
製品質量		28kg（満水時32kg）
消費電力		3.171kW／3.178kW
配管接続口径	暖房 往・戻	G 3/4（20Aオス）
	ヒートポンプユニット 往・戻	R 1/2（15Aオス）
	タンクユニット 往・戻	R 1/2（15Aオス）
配管条件	暖房用 中継BOX〜室外機ユニット	φ12.7銅管 または φ10樹脂O_2ストップ管（酸素透過防止管） 配管断熱材20mm以上 配管長15m6曲り以内　鳥居配管3m以内
	暖房配管	φ12.7銅管 または φ10樹脂O_2ストップ管（酸素透過防止管） 配管断熱材20mm以上 1系統あたり配管総延長30m10曲り以内、鳥居配管3m以内 BOX下より＋4.5m、−1m
	貯湯側 タンクユニット〜中継BOX〜ヒートポンプユニット ※9	φ12.7銅管 または φ10樹脂管 凍結予防ヒータ施工後 保温施工（配管断熱材20mm以上） 配管長15m6曲り以内　鳥居配管3m以内（1ケ所） 高低差3m以内
ケーブル	中継BOX〜ヒートポンプユニット	4芯φ2.6mmVVFケーブル
ヒートタンク		ステンレス鋼板
暖房熱交換器		プレート式熱交換器
安全装置		バイメタルサーモ

※9 工事説明書に記載しているタンクユニット配管条件と同じ

仕　様（つづき）

運転制御仕様

貯湯運転制御		おまかせ、マニュアル、深夜のみ、夜間セーブ、沸きまし
給湯温度調節		36～48℃（1℃刻み）、60℃
ふろ自動	湯張り温度調節	36～45℃（1℃刻み）
	水位調節	7段階設定　※10
追い焚き	加熱方式	間接加熱
	能力	8.0kW（6,880kal／h）
	保温時間	30分毎自動保温運転、最長追い焚き時間60分
暖房	加熱方式	直接加熱／直接＋間接加熱
	システム能力　※11	8kW
	低温時システム能力1　※12	6.4kW
	低温時システム能力2　※13	8kW
	ヒータ能力	3kW
	暖房温水温度調節	暖房リモコンにより「高」、「中」、「低」調節可
	ポンプ機外揚程	49.0kPa（5mH_2O）at7L／min
	加熱媒体	不凍液　※水は不可
	回路方式	密閉回路式 密閉膨張タンク・圧力計・逃がし弁　取り付け
	暖房水タンク容量	密閉膨張タンク仕様による
	膨張吸収量	密閉膨張タンク仕様による
	許容システム水量	80L以下
	給水方式	不凍液、加圧給水
	暖房端末	パネルラジエーター（サーモバルブ付きのもの推奨） 床パネル（送水管が銅管のものに限定） ※ファンコンベクターは不可 ※床暖房リモコンは機器に接続不可
	暖房端末の接続形態	1管式（単管式；直列接続） パネルラジエーターは1系統3台まで、床パネルは1系統6畳まで 合計4系統まで （パネルラジエーターは最大12台まで。床パネル使用は1系統のみ） ※2管式（複管式；並列接続）は不可
	暖房端末高低差	中継BOX下より＋4.5m、－1m
凍結予防	給湯・ふろ	水抜き
	暖房	なし（不凍液使用）
	貯湯回路	自動凍結予防運転
給水圧力		200kPa（2kgf／cm^2）以上

※10 ふろ循環アダプター上約10～15cmから上方に2cmまたは4cm刻みの7段階設定
※11 外気温（乾球温度/湿球温度）7℃／6℃、暖房温水往き60℃、戻り42℃（不凍液）
　　<ヒートポンプユニット1台運転＋ヒーター3kW>
※12 外気温－20℃、暖房温水往き70℃（不凍液）（※11と同様）
※13 外気温－20℃、暖房温水往き60℃（不凍液）（※11と同様）

別売部品

リモコンコード（GBP－72－10、GBP－72－20）、脚カバー（STK－HPCF37－GK）
浴槽アダプター（HBS－EU4S、HBS－EU4L）、浴室用屋外カバーセット（STK－HPF24CB）
高置架台（STK－TC2050A）、防雪フード（STK－BU840）
密閉式膨張タンク、逃がし弁、自動空気抜き弁、不凍液（HBAF－10LH70）

不凍液の濃度は、設置地域の最低気温に応じて次の濃度にしてください。
※最低気温が－20℃以上であっても、配管保護のため不凍液濃度を40%以上としてください。

最低気温（℃）	不凍液の濃度（%）	凍結温度（℃）
－20	40	－25
－25	45	－30

メ　モ

メ　モ

アフターサービス

保証書（別紙）について

お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ大切に保管してください。

保証期間はお買い上げの日より2年間です。
ただし、熱交換器およびコンプレッサーは3年間、タンクは5年間です。

- 保証書の記載内容によりお買い上げの販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎてからの修理については、お買い上げの販売店、またはもよりの「修理ご相談窓口」にご相談ください。お客さまの希望により有料修理いたします。

この取扱説明書と本体に表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反して使用された場合の故障・事故は補償いたしません。

補修用性能部品の保有期間について

ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後、10年です。

- 補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居される場合

- 撤去、再設置工事は必ず専門業者に依頼してください。

アフターサービス

ご相談や修理は

修理や部品に関するご相談は、お買い上げの販売店、または別刷の「お客さまご相談窓口」までご連絡ください。

●故障修理を依頼されるときは

次の事項をご連絡ください
① 故障の状況
② 形式（SHP-TCCH37F-GK）
③ 製造番号
④ お買い上げ年月日
⑤ おなまえ、おところ、電話番号

●お客さまメモ

アフターサービスのご連絡に便利です。

お買い上げ年月日　　年　　月　　日
お買い上げ販売店 電話（　　）　　ー
担　当

総合相談窓口
受付時間　9：00～18：30

家電製品についての全般的なご相談は、下記電話番号にお問い合わせください。

総合相談窓口　050-3116-3434

郵便・ＦＡＸでご相談される場合は

◆三洋電機（株）お客さまセンター
〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX（06）6994-9510

2.夜間受付時間：月曜日～金曜日　18：30～翌9：00
土曜・日曜・祝日　17：30～翌9：00

エコキュート専用ダイヤル
0120-364-910（フリーダイヤル）

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

＜利用目的＞
- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

愛情点検

長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を！

こんな症状はありませんか
● 設置場所がぬれている。 ● お湯が早くなくなる。 ● お湯の出が悪い。 ● 時々漏電しゃ断器がはたらく。 ● その他の異常・故障がある。

→ **使用中止**　故障や事故の防止のため必ず販売店、またはもよりの「修理ご相談窓口」に点検をご相談ください。

※1年に1回程度の定期点検をおすすめします。

三洋電機株式会社

〒370-0596　群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号

郵送の場合には、お手数ですが（表紙に記載されている）商品名を宛先の近傍に明記してください。

この商品は海外では使用できません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)

71564119407002